京城日報

十四日夕刊

戒嚴令施行密議

十三日參謀部に於ては支獨斷交と共に戒嚴令を施行する件に關し密議を凝したり(北京電報)

獨逸公使引揚準備

駐支獨公使ヒンツエ氏は獨支國交關係の斷絕愈々切迫せるを觀取し公使館員を督し只管引揚げ用意を急ぎつゝあり(北京電報)

印度洋出現敵艦動靜 運命も餘り永からざらん

印度洋に出現せる獨逸假裝巡洋艦に關しては對敵行動上一切嚴秘に附せられつゝあるも濠洲海軍大臣の發表に依れば該艦は四千噸水上飛行機を搭載し居り去月二十七日コロンボと紅海との中間に活動せる形跡あり彼のコロンボに於て機雷に接觸して擊沈せる英船二隻の遭難に就きても右獨逸假裝巡洋艦の所爲なる事明かとなれり尙ほ此上永く同方面にあるは燃料其他補給上困難尠からざる可く且日英艦隊の搜索愈嚴密の模樣なるを以て其運命も餘り永からざるべきか(東京特電)

南方派の斷交反對

支獨國交斷絕に對し南方派は反對を表し內部の不一致を暴露しつゝある爲め段內閣の前途は樂觀を許さずと一般に觀測さる(北京電報)

仲小路農相(動靜)

九州產業視察中の仲小路農相は十三日夜下關山陽ホテルに一泊十四日八幡製鐵所並に其附近各工場を視察して下關に引返し教法寺にて講演を爲し山陽ホテルの官民合同の招待會に臨み七時十分下關發歸東せり(門司特電)

□兩陛下還幸啓

葉山御用邸に御避寒中なりし天皇皇后兩陛下には豫て仰出されたる如く十三日午後一時四十五分御出門波多野宮相內山侍從武官長鷹司侍從長大森皇后宮大夫其他の供奉員を從へさせられ拜觀者堵列の奉送裡に逗子驛に御著直に御乘車同三時四十分東京驛御著各宮殿下を始め文武百官の奉迎を受けさせられ御機嫌麗はしく宮城に還幸啓あらせられたり(東京特電)

黑金知事辭職 米澤市より立候補

豫て辭表提出中なりし黑金山口縣知事に對し十三日如左辭令ありたり
休職山口縣知事 黑金泰義
依願免本官
因に同氏は這回米澤市より代議士候補者として打つて出づる由(東京特電)

特使釜山通過

支那派遣日特使江木大使氏は隨員十三名及び途中迄出迎の爲め出張せし釜山驛在支那領事並びに鐵道局岡村參事と共に十三日午後七時釜山著列車より棧橋停車場に下車直ちに桂驛長の先導にて關釜連絡船新羅丸に搭乘同八時三十分出港東京に向へり(釜山特電)

政界觀 花井博士車中談

圖「內地の選擧騷ぎかね—、新聞によつては隨分喧しく書き立てる樣だが實際は其れ程でもない、關西の方だね、四月に這入つて見なければ眞個の運動は始まるまいよ今頃はほんの紙上の爭に過ぎないさ」と例の顋髯をむしやくしやにした花井博士は氣焰を揚げる。

圖『今度の選擧で憲政會が減るのは先相違ないと云つても過言ぢやあるまい、けれ共政友會が殖ゑるかどうかは疑問だよ僕としては大して增す事も無からうと思ふ、結局中立黨が殖ゑる形に成るのだね』と刑法學者で有名な、勝本博士が小さい目を一層小さうして口を開けば、花井博士が後を受けて

圖『實際精神的に政爭を行る樣にならなければ駄目さ、兎角選擧なんて言ふものは全く人の道だからね、結果を見なければ滅多に分るものでない、僕と云つても政黨政治には國民の自覺に從つべきものが多いんだよ今に見給へ、日本にも二大政黨の樹立を見る樣に成るよ、二大政黨と云ふと何だか物々しい樣に聞ゆるが—舊人黨と新人黨と云ふ樣なものが出來るよ、所謂舊偶像に復歸しようとする舊人と。及び舊偶像に根源して新政を建設せむとする新人と。

圖何に?今度の選擧で憲政會が百七十?そんな事はあるまいよ、憲政會が再び絕對多數を贏ち得る事は至難だね、兎角減ると云ふ事は何人も認める處さ」と餘り御愛想の無い樣子

圖「そうさね、選擧違反事件の續出と云ふ樣な事はつまり憲政發達史の行詰りと云ふ感がないでもないよ、解散かね、さあ、而し之れや稍や研究を要する問題だよ、けれ共政府もそんな事は出來まいと僕は思ふがね」

圖京大の學生や何かと丹波の山奧迄出掛けるのが第一間違つてるよ敢て事件其物が惡いと云ふのぢやない本人の爲めに惡いよ、政談演說を稽古にやるのなら良いがれ、自分が政爭の渦中に投じて木賊の人の樣な振舞をするのが差支へる講者の練習は必要だ他のベースボールやなんかと同樣の話しさ、只少ない時間を浪費して貴重な修學を忽にし而かも未だ羽も生ゑない內から飛び步かうと云ふのが間違つてると云ふのだ。實際親の身分に依つて見給へ、誰だつてやれやれと云ふものはあるまい、要は眞面目に自家の修養と研究を怠らず將來雄飛の基礎を固めるさ、あんな事は本人其人の爲めに賀すべきでないと云ふのみで善惡を論ずべきものでもあるまいと思ふ』

圖京大學生の應援演說と同樣大學教授の議員兼職問題なんかも考へものだ、一體大學教授等は普通議員等より遙かに上位に在る筈のもので云はゞ國士だからね、議員等の間に伍して騷ぎ廻るのは寧ろ馬鹿げてるさ、そんな事をやつてる間に議會等に興味づけられると自然自家の研究が忽になる譯なんだからね。

圖只僕は思ふに此際議員等の希望に應じ若くは承諾を得て議會で發言を許すと云ふ事は寧ろ議會の爲め和益する所が多からうと思ふ而し之れとても東大等の教授連にのみ望む事で京大邊りから態々東上して議會に列するのは復研究問題だらうと思ふ要は時間の問題に歸著するのだ、自家の研究を怠らない範圍に限り、時間の許す限度に於て」と云ふ譯のものだらうよ』とは主に勝本博士の雄辯であつた。

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾錢
廣告料 ▲五號活字 ▲三號活字
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 二六一四番 二六二〇番

總督天機奉伺

天皇皇后兩陛下には十四日葉山御用邸より還幸啓あらせられたるより長谷川總督は同日午前宮內大臣に宛て兩陛下の天機並に御機嫌奉伺の執奏方を電請する處ありたり

▲王公族奉伺

天皇皇后兩陛下葉山より還幸啓に付李王李太王兩殿下は閔長官を李堈公李埈公兩殿下は金武官を夫々十四日午後總督府に差遣長谷川總督を經て天機並に御機嫌奉伺執奏方を宮內大臣に電請せり

總督南鮮巡視

長谷川總督は豫て管內巡視の意ありしも著任後日淺く政務多端を極め且つ昨冬來各種會議開會等のことあり爲め其の希望を滿す能はざりしが政務總監も十六日歸任に決し政務の處理亦た一先づ段落を告ぐるに至れるより近く南鮮地方を巡視の途に上ることゝなれり、出發期は政務總監歸任後ならでは確定せざるも多分十八九日頃となる可く巡視地は忠淸北道、全羅北道、全羅南道、慶尙南道、慶尙北道の五道にて巡視期間は十餘日間の豫定なるものゝ如し

▲辭令

長谷川總督近く南鮮地方巡視に決せるより左記武官、副官、秘書官、通譯官等を隨行せしむ可く十三日附を以て出張命令を發せり
總督附武官 釜屋六郎
總督副官 齋藤義夫
秘書官 神田純一
通譯官 藤波義貫
忠淸北道、全羅南北道並に慶尙南北道管內に出張を命ず(各通)

政務總監歸期

過般東京出發歸任の途に在る山縣政務總監は遠藤秘書官等を隨へ十五日夜下關發連絡船に搭乘十六日朝釜山上陸、同日午後九時南大門驛著汽車にて歸任す可し

警務總長巡閱

古海警務總長は玄角警務官國友脇野兩警視太田副官外五名を隨へ十四日午前九時三十分より鐘路警察署を巡閱す

郡守更迭

十三日附を以て左の通り辭令ありたり
朝鮮總督府郡守(舒川) 黃祐璨
忠淸南道大安郡在勤を命ず
同(瑞山) 權益采
忠淸南道舒川郡在勤を命ず
同(燕岐) 申錫羨
忠淸南道公州郡在勤を命ず
同(公州) 池喜列
忠淸南道瑞山郡在勤を命ず

東拓所長會議(第二日)

東拓支所長會議の第二日は十四日も午前十時より會議室に開會日程により事業部主管事務に對する協議をなし午後三時散會したるが各出張所長は勿論鈴木監理官石塚總裁川上高瀨兩理事並に參事技師以上全部列席したり

石塚總裁催宴

石塚東拓總裁は目下會議のため入京中なる各出張所長を十七日午後六時より朝鮮ホテルに招待晚餐會を開くべし

間島鮮銀開店期

朝鮮銀行の間島龍井村出張所開店は當初十五日よりの事に略決定し居りしも竹島所長等十四日著任の筈にて十五日よりの開所は六ケ敷かるべく多分二十日よりとなるべし

朝郵北航代船

朝鮮郵船會社朝鮮北航路は全羅丸沈沒後の代船として穩城丸を使用し居たりしが今回仁川大連青島航路船江原丸を使用すること決定し十四日より就航し仁川青島航路を當分休航する由なり(釜山)

江原丸廻航

朝鮮郵船所有江原丸は青島航路就航中なりしが全羅丸沈沒の結果浦鹽航路に就航する事となり十三日釜山港に向け廻航したり

大商北航變更

大阪商船及び五光、商會各汽船北鮮航路は一往復二十日間なりしを十八日に短縮したる結果西湖津、新浦、城津の寄港は變更往復の一航に止め尙ほ從來元山發は午前九時なりしを午前七時發に變更し四月一日より實施する筈なりと(釜山)

佐賀漁業團出漁

佐賀縣朝鮮漁業團は昨今出漁準備中の由なるが本年は昨年に比し約百隻を增加し四百隻に達すべき見込にて鯖流漁船四十一隻鰆流漁船十一隻の外は總て鯛延繩漁船にして本月末頃迄に全南羅老島附近に出漁し全北及び忠南兩道沿海に從漁するものなりと(釜山)

兩氏歡迎會發起

荻田、鈴木、中村、宇佐美、國分、有賀、青木の諸氏發起となり曩に米國より歸朝せる木田勸業模範場長、今回歐米より
長官、防多田郵苑に申込む可く會費は金五圓也と

山田松熊氏

圖逝ける鮮銀の

鮮銀の柱石と目はれてゐた庶務局長の山田松熊氏が春まだ淺き十三日夕刻東京本鄕の自邸にて逝去した▲氏は昨年八月の銀行株主總會に列席の爲め東上後、心臟を病んで約半歲の間東京醫科大學病院に入院して靜坐法を實行もしたりして恐ろくべき事を云つてゐたが、▲醫師は夙に其治癒すべからざる事を云つてゐたが、氏は院內の儀に久力を示し、今日に及んだのである▲何でもツイ此頃大分快くなつたとかで無理に退院し、それから果物を食つたり、菓子を盛んに摘んだりしてゐたが、十三日容態急變長逝したのである▲氏は鹿兒島の生れ、然し今は籍を東京に移してゐる、曾て銀行に緣の遠い第一高等學校の工科に學んだが學業半ばにして日本銀行國庫局に入り多年國庫事務の修練を積んだ▲四十年渡鮮第一銀行朝鮮總支店の國庫課に勤務其後韓國銀行、朝鮮銀行と勤續し、國庫課長、營業課長、庶務局長を經て昨年同行の職制改革と共に庶務局長專任となつた▲氏は大した學歷なく樞要の地位に進んだ人だけ、自信力の強い眞面目な人であつた、國庫課長から營業課長に轉じた時など、營業の事務には餘り明るくないからとて常に晚は每夜十時頃迄も銀行に居殘り孜々として色んな研究と調查を續けた僅かの間に巨細となく通じて終つた氏は別にコレと云ふ道樂はなく事務を執つてゐるのが無上の樂しみと云ふ事であつた▲話しをしてゐると少し諄いが、仲々親切な人で記者なども氏の爲めに蒙を啓いたことが少くない、部下に對する思ひ遣りなどは深いものであつた▲木村理事の話しに依ると山田氏の話しが出ると『今死なしては銀行の失ふ所大也、どうかして治したい』といつも云つてゐた、然も遂に還らず可惜、本年四十四歲(一記者)

尹判事逝く

平壤覆審法院判事より高等法院判事に榮轉せる尹性普氏は前任地平壤に於て久しく病氣療養中の處終に十二日午後五時を以て溘然長逝したり享年五十七歲氏は法官養成所卒業出身にして二十餘年一日の如く司法官として身を全うせり右に就て▲島山平壤覆審法院長は往訪の記者に語つて曰く、尹判事は品性恭謙にして職務に忠實、老年にして克く語學を自習し司法事務の處理に當りて純然たる國文を自由に用ふるの境に至れり又民情風俗に精通し其天性の緻密は未だ曾て錯誤等の事無しといふも過言にあらざる可し今法曹界より此人物を失ふ誠に惜しむ可しと語りて了りてしばし落淚を禁ずる能はざりき(平壤)

淸浦子訪問

淸浦子は十三日小田原に山縣公を訪問せり多分芳川伯の後任として樞府副議長選任に關する用談の爲めならんと觀測さる(東京特電)

勝田藏相歸省

勝田藏相は伊豫松山に歸省せり歸途大阪に立寄り同地視察の上二十四日歸京の筈(東京電報)

湯河氏入社 郵船

遞信次官を辭したる湯河元臣氏は日本郵船會社に入社すべし(東京電報)

對禁輸講究團

英國政府の輸入禁止に對する善後策を講究すべき實業團體起れり(東京電報)

地方

仁川

▲講習生募集 仁川基督教青年會にては來る四月一日より新學期を開始する由にて志望者は至急申込まれたしと▲大弓大會 仁川基督教青年會所屬大弓部にては來る二十五日大弓部開設一週年記念として大弓大會を催ほす由京城方面よりも來會者ある可く會費一人金五十錢にて飛入勝手なりと▲和樂溫習會 來る十七日午後五時半より仁川歌舞伎座に於て和樂溫習會開催仁川に於ける藝妓其他の鄭村山根秋、新井芳水、福岡露子諸氏の琵琶演奏あり▲仁川海水浴場 仁川奥田、稻田、白神の諸氏は仁川に海水浴場を設置すべく土地の選定其他準備研究中也と

大田

▲店員運動會 既報の如く大田實業協會主催にて當地店員慰藉の爲め春季大運動會を來る四月三日神武天皇祭日を卜し大田川下流埋立地に於て開催當日協會員定期總會をも同所にて開會する事に決定したり▲二月大田驛 大田驛に於ける二月中成績を聞くに乘車人員六千九百餘降車六千七百四十二人にして客車收入九千七百五十九圓三十二錢而して同月貨物に於ては到著一千九百七十九噸發送一千百六十二噸此收入三千九百九十四圓なり右前年同期に比し乘車九百五十六人降車四百九十四人客車收入一千五百四十九圓十九錢の增加にて貨物は到著七百二十九噸發送八噸貨車收入一千百二十九圓の何れも增加を示せり尙ほ二月中當驛倉庫成績を見るに入庫四十八噸三出庫六十九噸四、一月繰越數量二百八十一噸九、合計月末在庫二百六十噸八にして價格一萬六千百三十五圓二十錢なり內主なるものは玄米四十六噸三大豆一百七十四噸四小麥三十五噸一なりし▲護岸修築 昨年夏期の大降雨のため崩壞したる大田川護岸修築工費六千圓にて本月初旬より著工中なり

大邱

▲綿虫驅除豫防 十三日鈴木慶北道長官は管內各果樹園主をして三月十五日より一箇月間綿虫の驅除豫防を勵行せしむべく命令を發せり因に本年綿虫被害樹數は五千五百七十三本なるも昨春に於て綿虫驅除豫防を爲せる爲め被害程度は極めて輕微なりと▲穀物檢查成績 三月上旬慶尙北道輸移出穀物改良組合に於ける米豆檢查數量は玄米一萬六千二百九十四叺內優等七百九十四叺上格一萬七百八十二叺下格四千七百八叺不合格十叺にして大豆は上格二千九百九十八叺下格五百十六叺にして總數三千五百十四叺なり▲西山覆審判事榮轉 大邱地方法院判事西山久二郎氏は今回京城地方法院豫審係に榮轉せり

平壤

▲農學校新入生と卒業生 公立平壤農學校にては本學年期に於て新入生五十名を募集せるが本年の卒業生は三十一名にして大半は已に賣口決定せしもの如く此等卒業生中面農業技手に就職する者十二三名、水原農學校に入學希望の者二名其他は普通學校の代用教員なり此等は普通學校長は力めて官吏教員を希望せず寧ろ學校にて習得したる知識を自家經營の上に用ひんとを勸誘し居れるものゝ如し▲私設電話架設 小野田セメント製造會社にては平南大同郡寺洞より江東郡晚達山に至る會社專用輕便鐵道附屬の私設電話延長七哩八分を架設せんとて三月十日附を以て認可申請書を朝鮮總督に宛提出したり▲氣腫疽發生 平安南道順川郡北倉地方に於ては三月五日獸疫氣腫疽發生し畜牛の斃死するもの七八頭に達し尙漸次蔓延の徵あるにより所轄順川分遣所に於ては郡廳と協議の上之れが豫防消毒を勵行しつゝあり▲中學應募人員超過 平壤中學校に於ては新學年度より入學

人事消息

▲本田常吉氏(平壤府尹) 十三日歸京
▲胡濱氏(鎭南浦支那領事) 十二日汪大燮氏歡迎の爲め平壤へ十三日歸任
▲富岡定一氏(軍司令部附一等獸醫) ▲宗谷虎雄氏(陸軍倉庫附一等獸醫) 平壤騎兵隊及び砲兵隊馬匹檢査の爲め十二日來壤中の處十三日北蒼安へ
▲小泉彌平氏(總督府技師) 任官部全州郡へ出張を命ぜらる
▲近田文島氏(同上) 十二日歸任
▲橫井增治氏(同上) 十二日歸任

逐鹿夜話

△憲政會の本部娛樂室で例の尾崎總務が演說吹込の蓄音器を御披露に及んだが廻し方が早かつたので頭顱演說同樣大に振はなかつた其處で集まつた連中頭を捻つて是非やらうと騷いだ舉句が、何と云つても前座にカッポレか浪花節でもやれば可いと云ひ出した其れも可からうがカッポレと總務を同席させては醋いと云ふ者もあつたが結局是は遊興を提供すると云ふ理由で選擧違反になると判つておチャン而し尾崎君の演說が浪花節と同行しなかつたのは仕合せ

△一時鎭南浦や平壤の理事官で羽振りを利かせた秋本豊之進君多年の希望を遂せん爲め今回も東京の郡部から憲政會の公認候補者として出馬したが最う運動員が七名迄も選擧違反の嫌疑で引致された前回の選擧の時にも違反事件があつたが同君は能くよくの違反と云ふ惡因緣がくつ付いて居るものと見ゆる

△東京市では最ふ同士討が始まつて大分物騷になりかけたらしいが此の間も高木益太郎君の隣家へ同志の運動員が切り込んだと云ふので君の高木派はプン〳〵怒つて居ると云ふ騷ぎ處が各候補者中一人ニコ〳〵して居るのは粕谷木材吉君で其の理由を聞くと同君は大隈侯夫人の大のお氣に入りだから夫人も同君を助ける有權者を早稻田邸に呼び付けて宜しくとのお達しがあるので競爭者は密かに歯をして口惜がつても何分手が居ぬから弱つて居る相なこれなこそ百萬勢とこそ申さめ

△江間俊一君前回の選擧の時イザ總切りと云ふ三日前に突將に盛んと云ふ處が同君秘藏で且つは自慢の五したのプラチナの指輪が突然姿を隱したが其の際か同君首尾能く當選したので配下の面々は身代り指輪とか忠義の指輪とか云つて居る相な今度も此の指輪が姿を消した時が江間君苦戰の時だとは皮肉だ

◎談合事件上告公判
熱烈なる花井博士の辯論
傍聽席の雜沓＝午前中の光景

社會の注目を惹ける朝鮮土木請負業者小林長兵衛以下に係る京釜線工事請負談合事件上告公判は三月十四日午前十時より高等法院に於て開廷せり定刻と共に裁判長渡邊高等法院長は石川、前澤、永沼、水野の四陪席判事坂井書記を随へ草場檢事の立會にて著席し

◎一方辯護人として 前夜入京したる花井、鵜木の兩博士(鵜澤小川兩辯護士缺席)大井辯護士及び安住、淺倉、木尾、赤尾、內田の以上八氏入廷したり之より曩き定刻に先だち二審に於て有罪の宣告を受けたる請負業者十數名が最後の運命を決すべき最も興味深き最高裁判のこととて午前八時頃より押掛け來る傍聽人引きも切らず殊に目下

◎保釋中なる各被告及び親戚知己等多數傍聽席に入りて片唾を飲みて開廷を待ち居り傍聽席は定刻既に錐も立たぬ有樣なりしが定刻に至り坂井書記より出廷辯護人の氏名を讀上げ裁判長は開廷を宣するや劈頭花井博士の辯論に入れり

博士は立ちて悠々辯論する所あり約二時間に亙り

◎條理整然たる長廣舌を振ひたるが要は原審(第二審)に對し失當の點あるを指摘駁擊したるものにして前判決を二十一點に分ち原判決の理由中本件は隨意契約に非ざるものとして原審に於ても認定されたるものなれば請負人たる者が何等鐵道局に損害を與へたるものにも非ず寧ろ實現されたるに止まり實際に於て被害なきのみならず更に原審の當該官吏を欺罔したりと稱するも何等之を明示せる所なし而して

◎其犯罪構成と認定すべきは契約を完了したる刹那にありとするも其の時には何等金錢上に於て可能的の觀念無く且つ鐵道局が此の談合に基きて財產上如何なる不利益を蒙りしやに就きては何等明示せる所なし倘此の談合が秘密制を冒したりとするも之れが爲め被害者の豫想したる事實實現を妨げざれば詐欺罪は構成せず曾て最近山梨地方裁判所の判決に服せず東京控訴院に控訴したる事件にして本件と同一のものありしが之は無罪となれりとて歐米

◎諸國の裁判判決例を引例し論ずる所あり本件は詐欺としての刑事問題が成立すべきものにあらずと結論して著席したるは午前十一時五十分渡邊裁判長は暫時休憩午後一時より再開する旨宣して一先づ閉廷せり尚午前中は司法部より山口法務課長、國分司法部長判事、高島通譯官、淸水書記長の諸氏も傍聽しゐたり午後は鵜木博士を初め其他の辯護士の辯論あり

裁判長 高等法院長 渡邊暢氏

◇談合事件上告審公判廷 向つて左より草場檢事、永沼判事、石川判事、渡邊院長、前澤判事、水野判事、坂井書記

◎蠅を撲滅せん 虎疫豫防の爲め

門司其他に於て厳冬にも拘らず虎疫流行して朝鮮にも何時侵入し來らずとも限られざるを以て釜山、木浦、群山、仁川其他各地に於ては既に之が豫防法講究中にして京城に於ても昨年虎疫に罹りたるもの及び其家族並に其附近居住者に付檢便に依り虎菌の有無を試驗したるに幸にも一人の有菌者を發見せざりしが蠅が傳染病媒介の最たるものなるを以て今年は早々之が撲滅を期する爲め本町警察署にては近く町總代と相談の上實行方法に付講究する筈なりと

◎京都の火事

十三日夜京都竹屋町鍛屋町西へ入竹內元之助方より出火六戸全燒五戸半燒せり(大阪特電)

◎三名河豚中毒

慶南統營郡統營面島町西濱吉(三三)妻よし(三〇)同地堅町中尾りち(三〇)の三名は三月二日午後八時頃共に河豚を調理し豆腐汁に混せて炙り喫食したるに何れも中毒を起し同夜十二時頃より全身搾痛を感じ數回の嘔吐をなしゐたりしがりちは翌午前三時頃遂に絶命し他の兩名は幸くも一命を取り止め得たりと

◇談合事件上告審出廷辯護士諸氏 前列向つて左より大井静雄氏、法學博士花井卓藏氏、同鵜木勘三郎氏、島田武夫氏、後列左より朝倉外茂鐵氏、安住時太郎氏、赤尾虎吉氏、木尾虎之助氏、內田守藏氏

◎優等生を出した家庭
涙の出るやうな優しい心づかひ

◇萬事子供本位 楡田文男君の嚴父の談

十三日京城中學校第五回卒業生首席楡田文男君の嚴父要輔氏を訪ふに包み切れぬ嬉しさの笑みを湛へながら語るやう「あの兒は尋常科五年の折りに仙臺から日の出小學校に轉校して來ましたが元來學問好きですから勉強する事なぞに就ては些しも世話は燒けません却つて餘り過ぎる位な、制止する位な方です子供は三人です現に中學校の一年に居る弟と尋常五年の妹とが有ります私の

◇家庭は 全く子供本位です私共夫婦は凡ての努力思慮一切を擧げて子供に傾注して居ります朝起きる時又夜就寢させる時なぞは殊に子供の身體に就て充分の注意を拂つて居ります、その爲めか幸ひに私共の家庭では未だこれと云ふ程の

◇病氣を 致した事は有りません、今度首席で卒業した兒なぞは小學校へ入學して以來仙臺から京城へ移つて來る旅行中の外は一日も缺勤した事は有りません、友人は誰彼と云つて別に深く交際は致しませんが學校以外にまで交際する程の

◇親友は 持つて居りませんたゞ龍山の佐々木同仁病院長の令息と親しくて時々往復します其の折りは何時も兄妹三人で參ります私が子供の教育に關して注意を拂つて居るのは第一に健康で次に私は家庭で何を喰べては不可ないといふやうな

◇消極的 の事は云はず子供の嗜好に適するやうな滋養品を澤山に取らせるやうに致しますそうすると子供は自然に他の健康上如何はしいやうな喰べ物に手を出しません第二には品性の陶冶ですが私は何處までも子供を善く育てたいと考へましたから子供が生れて以來私も一度も

◇嘘言を 吐いた事は有りません隨つて子供は『嘘』といふ事を知りません子供の口からも他に對して『それは嘘だろう』と云ふやうな言葉を用ひた事を一度も聞いた事はありません、これには種々と苦心も致しました女中なども使ひ度いと思ふ事も度々ありますが行儀言葉使ひなどが子供に

◇惡影響 を及ぼす樣になつてはと思つて女中を使ふ事も辛抱して居る位です學問ですがこれは前にも申しました通り私共も世話が燒けません小學校以來ずつと良好の成績で通つて居ります」と。文男は一高の政治科を志望して居ります

中學首席卒業生 楡田文男君

◇敬虔な心持 渡邊高等法院長の談

中學卒業生の次位を占めたる齋藤隆君は營林廠長齋藤音作氏の

◇長男で お父樣達は新義州に居られ君は渡邊高等法院長の官舍に居られ邸から通學して居つた渡邊法院長の談に『隆さんの如うな

◇立派な 青年は稀らしいと思ひますそれ故に勉學品行等に於て私は少しの面倒も有りませんでした明斷とした性格でありながら少しも

◇我意 を通して貫ふすと云ふやうな處もなく又何事にも淡泊で執拗いやうな處はありません學科は勿論申分の無い方です斯んな立派な子供の生れたのも要するに其の家庭が

◇立派 だからです其の父母一家が悉く敬虔なるキリスト信者であるからです、隆さんも既に洗禮を受けた立派なクリスチヤンです試驗中でも何んでも日曜日には必ず

◇禮拜に 參ります身體は健康です一昨冬寄宿舍に居た時急性肺炎に罹りましたが其の折別府温泉に轉養して

◇充分に 治療したので今では却て以前よりも健康體に成りました擊劍も達者です お父樣の齋藤君も擊劍が上手です隆さんは一高の法科志望です

◎拾得品を賣る

釜山辨天町三丁目印判業靑木庄吉(四一)は去る七日の夕刻富平町三原亭にて一杯飲みに繰り込み氣が附いて見ると金鎖と鍍金の時計(價格百廿六圓)が紛失し居たるより醉も醒め靑くなつて遺失届を釜山署に差出し居たり然るに九日身裝賤しき鮮人が辨天町二丁目伊藤時計店へ金色の時計を持參し鑑定を求め居れるを通り掛りし樋口刑事が擧動不審と認め本署に連行し該時計の出所を訊したるに二月八日午前六時頃傳染病院前の海岸道路にて拾得したる旨申立て尚金鎖及び金塊は他に賣却したる旨自白したるより贓品は全部本署に引上げ十二日遺失者に下渡したるが拾得者は慶尙南道統營郡巨濟島生れ當時釜山府昌武洞村敬五方に居住する趙任述(二八)と云ふ居夫なりと(釜山)

◎情死 新町巴樓
千圓送金の手紙

十四日午前五時頃京城新町遊廓巴樓事森田さく方二階四疊半の室にて同樓の抱娼妓と馴染客と合意の情死沙汰あり女は愛媛縣周桑郡德田村生れ當時巴樓抱へ娼妓八島事高山きつよ(二一)といひ男は岐阜縣土岐郡笠原村生れ當時

▲京城本町五丁目名刺屋中山某方同居中の栗田專藏(二五)にして兩名は相談の末前記五時頃洗滌用のリゾールを各五勺宛位飲用して情死を企て打伏したる儘苦悶中を同樓仲居中山たき(三八)が發見して大騷ぎとなりたるものにて直ちに新町病院より醫師を迎へて應急手當を加へ一方警察に報じたるが本町警察署より係官出張し檢視せしが兩名共口が利ける位にて生命には別條なかるべく女は取敢へず

▲新町病院 に入院せしめ男は龍山居住の親戚へ引渡すことゝなれり專藏は昨年九月來足繁く通ひ詰め互に相思の間柄となりたる爲め十圓程に嵩み居れるも元より店員の事とて續く筈もなく今は兩人共丸裸の姿にて進退窮したる結果此の始末に及びたるものゝ如く男は數日前國元へ金一千圓を送附せよとの手紙を出したるが一文の送金もなく越したる由なるが悲觀したるものならんと尙同人は郷里にて中學校を卒業し小學校の教師を奉職せしこともあり四年前渡鮮入京して某會社に勤めしことあり現在は店員名義なるも殆ど居候同樣の身分なりと

◎宿舍十棟 空中に捲上げらる
臺灣西軍岱山中に旋風起る

臺灣西軍岱山中にて九日旋風起り堅牢なる宿舍十棟を數丈の空中に捲上げ後大地に打ち付け微塵に粉碎されたりとの報あり(大阪特電)

◎軍樂隊員内縁の妻を絞殺す

第四師團軍樂隊員田原義正(二三)は熊本縣人なるが十三日宇都宮の旅館にて內緣妻東京神田下宿屋金森の娘新井とくを絞殺せり(大阪特電)

◎書畫 大分縣宇佐郡驛舘村生れ京城太平通二丁目鮮人宿止宿中の辛島純一(三三)は昨年十二月十七日午後四時頃永樂町十一號賣所にて黃金町三丁目古物商關根某の所有なるマント一枚(十圓)を窃取し竹添町一丁目古物商趙東駿方へ僞名にて賣却し尙外一個所にて窃盜を働きたること發覺し本町署に引致取調べの上檢事局へ送られたり

讀者文藝 (一等には五十錢の商品券を呈す)

▲謎『靑い酒と掛けて』
○花咲爺と解く心は灰殼より風寶を受くる(ハイカラより勘定を受る)(一等) 京城 上田生
▲給仕女と解く心はカフエーに付きもの 京城 山陰生
▲温泉と解く心は新發入(西洋人)が好く 京城 二葉
▲女學校の學期始めと解く心は新らしい女が登校る(飲る) 新龍山 茶加平
▲朝鮮人の早婚と解く心は未來派の(獲宴) 元山 內山深思
▲年若い大名と解く心は幼主(洋酒)とも言ふ 京城 朝寢坊

◎重石の橫領 靑森縣津輕郡……したる一件は京城地方法院にて懲役十箇月の判決を受けしを不服とし……

二等(十七名) 川原榮一、佐野金鎖、鈴木稻子、……
伊東武雄、宇野右松、花田鐵松、……

原道慶尙北道の沿岸

(讀者文藝)課題及募集規定

天氣 曇後晴れ

演藝案内
大正館 電話八七三
黃金館 電話二六二七

社告
一、長井栢一
右者一ケ月前より當支局員として勤務致し居候へ共都合に依り大正六年三月十二日限り解雇致し候間爾後當支局とは全く關係無之候間此段廣告候也
大正六年三月十四日
京城日報社仁川支局

一、工事請負入札
庚子紀念幼稚園保育室其他建物修繕工事
此入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ十以上
入札者ハ當學校組合區域內ニ於テ國稅、府稅及當學校組合費年額參拾圓以上ヲ納ムル者ニシテ二ヶ年以上新業ニ從業スル者ニ限ル
右入札希望ノ者ハ當學校組合ニ就キ請負心得書、契約書案、仕樣書等熟覽ノ上參月拾七日午前拾時入札スヘシ
但現場說明ハ三月十五日午前十時
此契約ハ朝鮮總督府府尹金谷充之ヲ擔任ス
大正六年三月十三日
京城學校組合

▲美味なる▼
虫下し最良藥
定價五錢●十錢●廿錢●五十錢

岩崎大海堂セメンノ藥
美味なる 虫下し最良藥 さんとにねくわー
商標 珊瑚篤尼湼菓子
本舖 大阪天王寺烏居前角 岩崎大海堂
▲內外藥店にあり

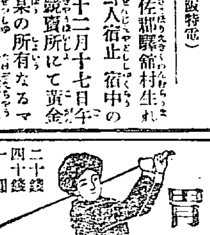
主治効能
蛔虫諸症。疳の蟲蟲熱 夜なきの蟲。乳あまし 蟲腹いたみ。疳熱の蟲 蟲胸あしく。勞熱の蟲 蟲せき。驚風の蟲

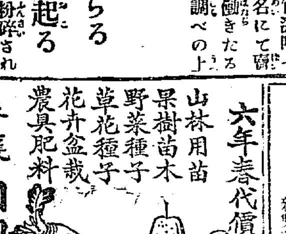
大口歡迎 京城黃金町長橋町入 電話一九一六番
田村質店
商品擔保便利取扱
質
近來粗惡なるにせもの續出す鳥居の商標と岩崎大海堂に御注意を乞ふ
▲廿錢のは卅二錢分入りで函入で體裁よく常用と物進に妙です

致富之栞!!進呈
營業所(堂島濱壹丁目)大阪堂島米穀取引所仲買人
今延商店
電話 北四六八番 北四六九番 北四七〇番 南四五一番
電信略號(イマ)
電話受信電略(オサカイマ三)

胃腸新劑
ゴルフ
二十錢 四十錢 一圓
「ゴルフ」はタカヂアスターゼを主藥とせる健胃消化の新製劑なり
東京室町 泰昌製藥株式會社

六年春代價表 進呈
山林用苗
果樹苗木
野菜種子
草花種子
花卉盆栽
農具肥料
平壤 內田百花園





高等法院判事從五位尹性普儀病氣の處養生相叶はず本日午後五時平壤府竹典里百二十五番地自宅に於て死去候に付辱知諸彥に謹告候也
大正六年三月十二日
喪主 孫 輔鉉
男 邦赫
男 正赫
親戚總代 尹恒普
友人 大谷信夫
深江常吉
總代 李基燦

口頭に宣告七十貫匁を賣却する價値……續されたる際之を同人に交付せず横領して鍾路二丁目金石商會に賣却

午後九時三十分釜山入港豫定 一等客三名 禾居虎之助、熊崎徳三郎、松尾鴫男 二等客 島田夫、外人二名 北井貞哉、野本勘三郎、大井靜雄 二等（三十二名）河崎俊夫、伊藤乙吉、同ます、井上恒、島田愛子、同太郎、吉留直哉

▲警報 ……度七百五十二耗▲進行方向東北東▲指記事北風强し▲警戒區域咸鏡南道江

町内のご自慢

▲本町三丁目▼

町内の折合頗るよし

□むかしは筆洞 今、繁昌の中心

本町三丁目は永樂町角から櫻井町の入口まで、最近若草町を貫いた入舟道路が總監部前から昌德宮まで一直線に取擴げられ大和町の入口は目下盛んに取壊し中なれど電車は此處には御免を蒙る由

◆筆洞と云はれて居ても手紙が出來れば不便はなからう、町内の戸數は二百二三十戸、本町二丁目が割合に廣くて當三四五丁目を併合したるに比し此の町のみが當六丁目で濟すは聊か割が悪けれど其の代り町内の折合よきは何よりも結構、町は南方が大和町から壓へられ北側が若草町から押し上げられて居れどそれでも

◆商賣の繁昌は他所に誇らす者物屋には京城唯一の森川、下川兩大關あり、鮮魚は日の丸魚市場の出店も評判其の他藤富米油商、丸一漆器店、パン尾のパーン商會、農具の勸農園、松田、山口牛肉店なども町内でなかなか古顏の方、以前は朝鮮人の謂ゆる筆洞で泥峴の内地人は顧みる者もなかつたが

◆今では殆んど繁昌の中心 昨年三月の若草町大火に燒太つた家も尠なくないが何うしたものか百三十銀行所有地の三百五十坪は今以て空地のまゝで放つてある尤もこれは銀行が三萬圓ばかりの抵當流れに手に入れたもので其の後ひき合はねまゝに持ち腐らして居れど夏はお蔭で小供相撲が大繁昌、此の町の爲めには早く軒並を揃へた方がよいかも知れぬ

◆其の他町には朝鮮商業銀行の出店があり淨土宗開教院も金光様もある、地主には田中嘉助さん田村さん、勸農園、吉城さんなど、總代は黄金館の田村義次郎さんで此頭は御病氣、代りに以前の京城民長商業會議所會頭、民會議長として名物男の曾我勉さんを訪問する

◆曾我さんは今は三丁目の郵便所長俳句の方は賓仙房宗匠として御弟子がざつと四十名あり今年の嚴寒に就ての傑作が『寒さへもわが意にそはぬ寒さ哉』といふので其角堂機一宗匠さへありがた涙をこぼすとの噂、田村總代を差しおいて私が兎や角申すは面白からずと何もかも辭退してやう／＼のことで明治廿五年頃渡鮮當時の昔しばなしが出た、當時は今の四丁目の

◆交番所裏の温突家が補綴軍部顧問官の官舍、曾我さんは時の補佐官であつた『なに王妃事件の起りか、あれは今の東亞煙草工場前の牛肉屋で日本將校指揮の訓練隊が牛肉を買つたのが因でつまり牛肉一斤から起つたやうなものさ』と云つて『あれは、些と無茶をやつたなあ!!』

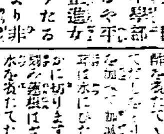
◉鮮婦人內地留學 平壤府

平壤府大察里居住正進女學校教師女徳信女史は今回東京女子醫學專門學校に入學する由なるが同女史は四十三年黄海道海州郡藍貞小學校を卒業し同年京城西部貞洞私立梨花學堂中學部に入學大正四年同校を卒業するや平壤に來り美監理教會所屬私立正進女學校に教師を奉職し今日に至りたるものなるが學業に熱心なる處より非常に内外人の信用を博し今回の留學費は外國人記者病院長ホールウエル氏夫人が全部支給する由（平壤）

◉觀世流素謠會

觀世會にては十八日午前九時より旭町一丁目白木樓に於て素謠會を催す由なるが從來觀世流は社中の復習を主とせしも今後は一般の來聽は無論社中の紹介あるものは師匠役員にも飛入を歡迎すべしと當日の番組次の如し

竹生島、朝長、梅枝、吉野、海士、國、教經、二人靜、松上▲觀賞、觀吟、采女、野尻俊吾



▲五目壽司

に五目の具をこしらへます 具は普通干瓢、椎茸、人参、蓮根、その他油揚など月々の好みでごみ取り合はせてもよろしくさや いんげん 又は三つ葉などを加へて彩味をつけるのも結構です 松茸 筍なごは特に結構です 材料が揃つたら酢を煮たて、細かに刻んだ油揚を入れざつと煮てだしを取り出し、酢には砂糖と鹽を加へて加減し器に移してさましておきます 干瓢は水にひたし柔かくなつたらば一寸位に切ります人参は長さ五分くらゐの細き千切り蓮根はさつと茹でて細かに切ります適宜の水を煮たてた鍋に椎茸と干瓢とを入れ煮汁の出たころ砂糖と醤油とで甘く煮つけ味のしみたところ切り出して人参、蓮根、油揚げなどを入れてよく煮えたらば笊に上げて冷しておきます御飯を少しかためにたき蒸し加減のよいところで鹽少々をふりかけながら飯臺に移しさきにさましておいた酢を少しづつ全體にふりかけ團扇で煽ぎながらかきまはし御飯の冷めたら用意しておいた具を入れよくかきまぜて食べます手早く混ぜないと酢の味も届く御飯のおちも出ません椎茸をひたした水で具を煮つけると味が大層美味しうございます酢一合にいき油揚一枚の割で結構です

◉看護婦生徒募集

日本赤十字社朝鮮本部が總督府醫院大邱、慈惠醫院に委託して看護婦を養成實施する件は豫て總督府に申請中の處許可さることゝなるべきに付不日生徒の募集を公示し豫定の通り來る四月より實施することに決定せり

◉曉天に響く非常召集喇叭

陸軍記念日に聯合の實施演習

春川守備隊に於ては三月十日の陸軍記念日に際し豫て改正せられたる警急配備計畫に基き實施演習を行ふと云ふので憲兵警察側に於ても

▲この好機を 逸せず聯合の演習をやらうとの相談が各其の隊長の間に纏まつた、折しも殘月猶ほ破鏡の正に落ちかゝつて曉風颯々と到る三月十日午前四時半忽然として警務部長よりの命令が憲兵分隊警察署に下された曰く春川警察署長の報告に依れば午前二時頃

▲約二百名の 賊徒が洛街道筋なる德斗院駐在所を襲ひ今や新延江を渡河して春川邑に肉迫せんとしてゐる尚ほ舟夫の言によれば昨夜五名の賊徒春川邑に入込みたる形跡あり依て春川分隊及び警察署は春川邑内の治安維持に努め春川邑に入込みたる

▲賊徒を捜索 して逮捕すべし、この急命を受けた憲兵分隊警察署に於ては俄に電光石火的非常召集を行ひ平素鍛錬の技倆を發揮するはこの時なりと各員の意氣軒昂活氣横溢の中に勇しき活劇が開始せられた、一方この急報に接した鳳儀山麓の守備隊では劉喨たる不時呼集喇叭が

▲曉風を衝て 響き亙つた、スハこそ一大事と跳ね起きた二年兵の一隊は僅か十五分間を以て警急配備に就くべき軍裝を整へ寛中尉指揮の下に營庭に整列したこの時賊徒は早くも春川邑の西方約二千米突竹田里の部落を襲擊して火を放ち掠奪を擅にしてゐるので急遽出動擊滅に向つた寛に隊瀬中尉の率うる

▲帽に白帶を 附したる賊軍と竹田里一帶の開活地に於て猛烈なる接戰が開始せられ銃聲は春川の天地も動揺せんばかりであつた、この活劇の最中に春川街頭の燈火は漸く遠近に明り響く

▲警笛の音は 勇しい靴音と騎馬の蹄と相和して春川市中の靜けさを破つた恰も市街戰の樣な觀を呈した春川邑内は各方面とも逸早く憲兵警察とで非常線を張つて蟻一匹這ひ出る隙もない樣に警固されたのでさすがの

▲賊徒も逃走 を企つる暇もなく出動開始後十五分にして某旅館に潛伏中憲兵分隊の手に難なく逮捕せられた一方竹田里の賊徒も寛中尉の率ゐる一隊に擊破せられ幾部分の賊は洪川方面に遁走した斯如き守備隊憲兵警察聯合の演習は今回を以て嚆矢とし守備隊は統裁結城大尉と西川副官憲兵警察側は各隊署長に於て

▲各員の動作 を綿密に監視したるが連絡動作も圓滑に行はれ頗る好成績を以て午前五時卅分無事終了せりと隊署長の講評があつた（春川特信）

商況

債券現物特電（東京）

十四日川來値

銘柄	値
東洋拓殖	[illegible]
京城電氣	[illegible]
朝鮮銀行	[illegible]
朝鮮瓦斯	[illegible]
南滿鐵道	[illegible]

公債直取引（東京特電）

十四日川來値

銘柄	値
五分利特別	[illegible]
五分利甲號	[illegible]
四分利	[illegible]
一回四分	[illegible]
二回四分	[illegible]
五分	[illegible]

深川在米特電

十四日現在高 [illegible]

東京期米特電

十四日前場 寄付 高値 安値 止め [illegible]

大阪株式

十三日 前場 後場 [illegible]

大阪三品特電

宇治川水電、神戸電鐵、京阪電鐵、阪神電鐵、合同紡績、鐘淵紡績、同上新株、東洋紡績、日本郵船、大阪商船、大阪米穀、東京新株、大阪新株 [illegible]

大阪期米特電

十三日 三月限 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 [illegible]

下關期米特電

十四日前場 雨小口利喰上値む [illegible]

雜報

◉綿糸布小安し

綿糸 [illegible] 綿布 [illegible]

◉麥酒と清凉飲料

麥酒安ぜり 三五十錢方の値上

對手の鼻息を覗ひ

混沌の状

清凉飲料 協定一圓三十錢方引上

◉內地酒愈拂底

酒は新古端境季に近づき上品愈々拂底となり元地よりは本月に入り更に高價を寄らし居れり新酒の模様は未だ詳報なきも灘地方は一月頃の嚴寒にて仕込酒中冷込み多く當初多少の豫定なりしもの或は之が爲めに却つて減石の結果を見るに至らざるやとの事なり又古酒の本年は新酒賣出の期を早め從來酒火を以つて新酒の初移入とせし當地も今回は……市中賣値は之に關税諸掛り費の昂騰を加算し一圓十錢の値上を爲す事に定まり居れりと

㊐ 仲買店 仁川米豆取引所仲買人 まるにち 電話 二八二番 二八三番

◉新茶見越

四月中旬前後に 現狀を維持

◉燐寸は持合

一割以上の値上

◉參糖の濫造

九十錢の高値を唱へ品切 一躍一圓八

內地の逆移入 製造材料

◉古着と需要

移出 自然客足繁く 反物生地高の

南大門の廻穀

仁川現物市場

穀物市場（十三日）

仁川期米

▲十四日前場 大阪天候晴天 前寄十六圓十二錢 昨止より十一錢高の入電二節〇九錢の……

大暴落を演出し 遂に三十臺に墜落

市場零聞

俄然暴落す

切の大暴落を演出し 慘憺たる光景を呈す 賣に三十五錢

投げ退き現はる 買方主力筋の

▲人氣動搖す

▲全の商内

㊉能く買ふ

㊐大に買ふ

㊟大に買ふ

㊦優勢に買ふ

㊚能く賣る

▲全能く賣る

▲今大に賣る

㊥大に賣る

▲三大に賣る

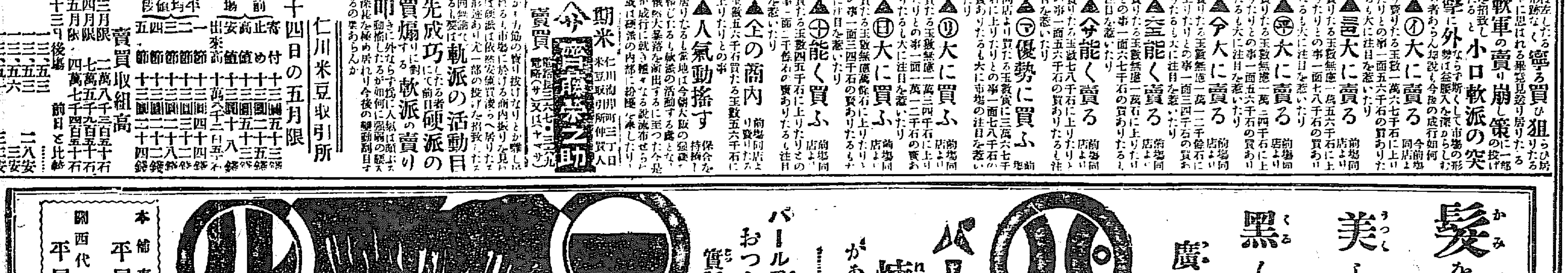
㋑大に賣る

軟軍の賣崩し策に一部の投げ……寧ろ買ひ狙ひたる……

期米 仁川米豆取引所仲買人 賣買 丸三伊藤光之助

仁川米豆取引所

十四日の五月限 [illegible]



保險金受領廣告

一金壹千圓也

妻クラ儀豫て共保生命保險株式會社と保險契約中の處今回死亡致候に付京城出張所より右金額正に受領候に付ては同社の堅實と支拂の迅速なる事とを廣告候也

大正六年三月十三日

平安北道江界郡公北面 角瀨守吉

三和高麗燒 鎭南浦 富田合資會社陶器部

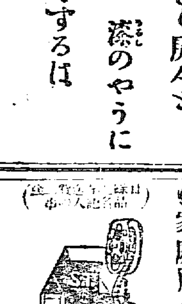
特約店 仁川 澁川商店 京城 青々園茶店 平壤 勝坂文鮮堂 平壤 平壤物産陳列所 釜山 山崎商店販賣部 京城本町 富田出張店

三和編み手提

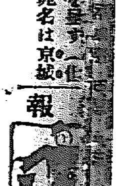
醇良清酒 白鶴 仁川本町三丁目 增本酒店 電話一〇九番 振替京城六一九番

魚釣具及投網卸問屋 御申越し次第定價表進呈 京城永樂町二丁目 吉備商會 振替京城四三二八番 當地網京商店は內地に引揚げられ候

活動寫眞器械 ▲寫眞貸附▲臨時出張映寫▲出張 ◉家庭用小形活動寫眞 八圓五十錢より上五十五圓各種電球使用安全 幻燈器械各種 映畫 教育・衛生・滑稽・科學・軍事・宗教・農事・風景・地理・風俗 大阪市新町通二丁目 寺田清四郎商店 電話番號長新町一四三番



京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通） 酒井婦人病院 入院隨意 電話 二六〇八番 京城旭町二ノ六 東京パイン萬年筆出張所



●原稿は五十錢當籤券を呈す ●住所氏名を明記に限る ▲宛名は京城日報編輯局懸賞文藝係

明君道中記

第八十六席 田邊南龍口演

忠長公は傍にありましたる短筒を取つて『何を秘さう賴みといふは餘の儀にあらず、今回代替りにて三代將軍家光が上洛をいたすに就て途中に待受け、汝が得手たる砲術を以て一發の下に家光が一命を絶つてくれい』聞いて驚いたる大島大學『エヽコハ何事かと存じましたら三代の君を討てとは空恐しきこと、如何なれば斯樣なことを仰せられまするか』『予は家光の舍弟ではあるが天下の逆に叱つて一度び三代の家督にもなるべき處を傍より妨ぐる者あつて其の事成らず、僅に駿府に於て五十六萬石、兄家光を無きものとせば此の忠長が四代の將軍職相續が出來る、其夜此の事を思つて居れど何分にも力足らずして相叶はん、幸ひ汝に申し付けて此事を果さんと存ずる、必ず意見は無用である、一度び思ひ込んだることは變せざるが予の氣性である、早々承知いたす樣』大覺も是にては到底意見を申上げてもお用ゐはあるまいと思ひました故『大善惡共に君命に從ふは臣の常、成るか成らざるは天に任せ途中に待つて將軍家を必ず失ひ奉る』とお受けをいたしましたから忠長公大いに喜び直に盃の用意をいたさせ大覺にお盃を下され、萬事手當をいたしましたから大覺は右の短筒を携へて密に駿府城を立出まして、途中屈竟の場所は宇都谷峠に若じと思ひましたから此處に身を隱して居て將軍家の輿物へ砲發をしたのでございます。此事は前に申し上げましたが遂に大覺は捕へ出して此場を逃亡いたしました是れが爲に上役人は江戸市中は申すまでもなく宿々村々を詮議嚴しく天は高し地は厚しと雖も跼蹐ることも叶はず、今は一身の置き所も無き大覺、姿を變へて忍んで居りましたが、端なくも東海道沼津の驛に於て助けましたる女といふのは同家中の小濱七之助の妻おゆりといふことが判りましたから此女と同道いたして江戸へ入り三番町水野內記方に七之助が居るとのこと故此の方へおゆりを作れ込み七之助に面會をいたして引渡しました小濱七之助の喜びは何に例へん樣もなく內記にも引合せて暫時大覺を止め置きまする、偕七之助は妻のおゆりが持參爲したる父の書面を見ると豫て主君よりお預りの寶劍左の一刀を加治木源右衛門の爲に奪はれ、剰へ社は燒れそれが爲に役目の落度となり、身は蟄居となり再度殿の亂行と聞いて諫言を爲した處却つてお怒りに觸れ七郎右衛門遂に切腹をいたして相果てるといふことが詳しく認めてあるから七之助は是を見て、スハ父の大事是より駿府へ參らうといふのを、傍に聞いて居つた內記が、『內イヤ是は七之助貴公が自身に參つては宜しくない、故は俺が貴公に代つて駿府へ參り其の處置をつけて參らう、恐くは七郎右衛門切腹いたして家は改易跡は混雜をいたして居るであらうから其の取片付けをして參らう』『七然らば伯父上何分宜しく願ひます』內記は駿府へ參つて見ると果せるかな七郎右衛門は切腹いたし家は改易、跡の始末をする者が無い、內記が七郎右衛門の跡始末をして江戸へ立歸り七之助へ委細を話しましたから七之助の驚きは一方ならず『七此の上は當國を出立して加次木源右衛門を探ね出し彼の寶劍を取返し主家に詫めて小濱の家名を再興いたさねば父へ對して申し譯がございません』と聞いて內記が『內イヤそれこそ貴公の斷めだ、早速出立いたすが宜しい』と茲で七之助夫婦は旅立の支度をいたしました

淋疾 尿器科 一般 外科 皮膚科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目(金光教會前)
安部醫院 電話四一九番

本町一丁目三越向 電話一〇四七番
齒科診療 野田齒科醫院
齒科醫士 野田照治

三月十六日 九星
舊二月廿三日 丁巳
赤口

毛皮なめし並に仕立
鳥獸剝製調進 販賣 鳥毛類高價買入れ
萬毛皮 京城本町二丁目
鳥羽毛類
鳥獸剝製標本
樽元商行
電話長二〇六五番 振替京城三四九九番

ルーデサック 特製品
美人(切手一割増)
A十個四十錢 B十個六十錢 雙形一個廿五錢 女用一個八十錢 廿個以上一割 郵券代用 外に要送料 總べて前金の事 振替京城三二七番
京城黃金町三 山田文殊堂藥房
男女〇〇寫眞ルサック 付縦五寸五分巾四寸 五枚四十五錢 頗八枚 組八十錢 密送料八錢
大阪市中之島二 白美堂

春の盛裝

■婦人の嗜み

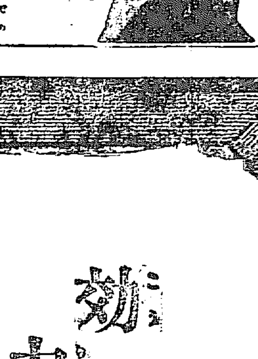
木々の梢も裝ひ凝らす春先には、御婦人方の第一の嗜は、髮容の手入れです。髮の毛の美い方は一生の幸福であります。何故と言つて御覽なさい。あの美しい晴裝に、水の滴れさうな髮を容よく結揚げた處は如何な人の眼にも優しく美しく女らしく映らないで居られませう。實際髮の毛の美しい方程德な者は在りません

■髮の好くない方

では反對に、生れついて髮の毛の好くない方、殊に縮れ毛の多い方、乃至は老年で髮の毛の薄くなつた方は、髮の毛の好い方を羨ましさうな眼で眺めはへないでせうか。否な、そんな筈はありません。

■此急に好い髮に

つひ此間まで髮の毛の餘り好くはなかつた方が、それが此頃急に如何にも美しい髮に生變つて居られる……といふ風な方を、恐らく皆樣はお知合の中にちよい〳〵御見かけでせう。否な、此不思議――髮が生變つた――否な、それは些とも不思議ではありません



然らいふ方なこそは完全なる染毛劑ナイスを召された方なのです。

■氣を附けないと

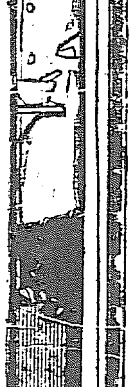
でも一つお氣を附けにならねばならぬ事は、一口に染毛劑と云つても種々なある事です。完全なる、ほんとに正味完全なる染毛劑でなければ、決して生れついての好い髮のやうなほんとの色澤には染まりません。却て色澤が能とらしかつたり、充分に染め上らなかつたりして見苦しいものであります。

■經驗のある方は

ですから經驗がありお若へのある方は現今は皆丹平商會のナイスをお使ひです。それはナイスは專門家の苦心から發見した丈あつて、第一時間は廿分で染り第二に染つた色澤が、性來の美髮のやう、それから襟枕抔に附く事がなく永い間色艶が保ち、用ひ方が至極簡單な、といふ五大特色があるからですナイスを用ひた髮は全で自然の黑髮の樣で如何にも美しく、髮の結棠も亦一入ですから、新春には是非必要です、價は大瓶七十錢小瓶四十錢男子用卅錢各藥店化粧品店にありますが非常な人氣で偽物に賣れる染毛劑はありません。發賣元は大阪心齋橋と東京浴屋町の丹平商會です。

新梅毒 唯一丸
身を亡ぼし家を亡ぼし子孫を亡ぼし國を亡ぼす恐るべき梅毒
發生の時期なり
梅毒は病毒より來る病毒は諸種の害毒と共に體內より除去すべき劇藥により其目的を達する現今の梅毒藥は其他の副作用を起さず此兩特効を併有するは梅毒專門藥唯一丸なり百發百中の効力は實に比良藥により不安なきを失られよ
一週間分四十錢 二週間分七十錢 一ヶ月分一圓三十錢
發賣元 中西莊吉 東京市牛込區神樂坂上 中西藥局 振替東京千五百番
新梅毒 唯一丸

質 堀佐營業所
京城黃金町二丁目(永樂町停留所北入)
電話六三九番


効力 五倍以上の
クラブ齒磨
化學的に齒を强く美しくし
口中を清潔ならしむること
他の如何なる齒磨よりも遙かに優れるは
天下一品のクラブ齒磨

春が來た
何處に來た
野に山に!
袖に袂に!
携へたまへ
森永ミルクキャラメル!

6-6
森永製菓株式會社

京城日報
第三版
三月十五日（夕刊と合せて八頁）
本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾錢 郵稅一ヶ月金五錢 三ヶ月分前金[illegible] 郵券代用[illegible]
廣告料 五號活字十六字詰壹行金八拾錢 ▲二號活字[illegible] 六號活字[illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯用四五番 營業用三二六番 一二一番 一六六 振替貯金口座京城三〇〇番

支那の政局　京城日報

支那政府の獨逸と外交關係を絕ち連合軍に參加すべきは、既定の事實とするところなれども、其歸結に達するまでには多少の曲折なき能はず。

過日黎總統と段總理との間に衝突を惹起し、段總理辭意を表して天津に去り、一時は政變を避くべからざる模樣ありたれども、馮副總統の周旋に依りて調停成り、是れより圓滿なる進行を見むとす、斯る事柄に就て總統府も内閣との間に衝突を引起すといふとは既に大問題なり、段總理が何等の根據なくして忽ち辭意を表するが如きは、他人より見るときは如何にも輕忽なるに似たりと雖も今日の支那の政治界には中心點なるものなく、各系統各勢力相雜揉して方物すべからざる狀體なるを以て、既定の事柄を遂行する爲めに、意外の混雜を生ずるとあると同時に、重大事項が案外に輕々に處置せらるゝも亦有り得べし、乃ち今日支那に於ける事柄が豫じめ常識を以て之を斷ずる能はざる所以にして、今や大勢既に定まれりと云ふも又々如何なる變動を見ざるも知るべからず。

今日にありては支那として、獨逸と國交を絕ち及び連合軍に參加するといふも必ずしも難事にあらず、實際上獨逸本國は列國の包圍の中に在り、其の支那に於ける外交機關の如きは夙とに索居孤居一事を爲す能はざるの地位にあり、故に支那に於て若し強て獨逸との外交關係を維持せむとするときは、却て現在の關係列國と衝突せざるべからずして其危險測るべからず、則ち獨逸と外交關係を絕つは支那に取りて最も安全なる手段なり、而して更に進みて聯合軍に參加すと云ふも、英佛戰線露國戰線は言ふまでもなく、東歐戰線とても支那の軍隊を用ふるを要せず支那海軍亦聯合軍と共に策動するに由なし、乃ち支那は格別の危險も勞費もなくして、聯合國民の味方たるの地歩を占め得るものなるを以て、彼に取りては易々の業と謂はざるを得ず。

只最近に及びて大に其勢焔を揚げ來れる復辟運動に至りては、支那に取りては重大事なり、且此事や支那自身にて解決すべき問題にして他人は與からず、從て其危險も勞費も彼自ら負擔せざるべからずして、幸に無事に之を解決し得ば可なりと雖も、ただ之を仕損じたらば革命ともなり、南北分裂の禍をも二たびすることあるべし、支那人中には此問題の爲めに外國の兵力金力を利用せむとするものあるが如くなれども、是れまでのものなく、實際上支那が共和政治たると、帝主政治たるとは、關係國民には何等の利害なき所にして、斯る事柄に深入りするものは、一も支那の復辟運動者にして、自ら之を擔當するの意思能力なくして、徒らに他人の力を假らむとするものならしめば、其功を成すなきや言を俟たず。

東部内蒙古鑛産（十一）

△金鑛

▽三叉口金鑛　豐寧縣に屬し豐寧を距る南西九十二支里即ち脑黃旗より北西二十二支里地黃旗より南十支里二只溝と稱する溪谷の源に在り此溪谷中には鑛脈多くして三叉口の部落附近平台子溝及び楊沙溝に散在す其主なるは平台子溝にあるとす交通概ね良好なるも溪谷の門口たる二只溝より金産地迄は傾斜急にして砂礫多き河道を通過せざる可からずされば車馬の往來には大に困難なり地質花崗岩「ペグマタイト」片麻岩等より成り東方には「アプライト」及び石英粗面岩の噴出を見る鑛脈は前記片麻岩中に胚胎せらるゝ石英脈にして平台子溝に露はるゝものは走向東西、傾斜南に十度乃至二十度を有し其幅は五寸乃至二尺にして一定せず楊沙溝に露はるゝものは其幅一尺内外にて走向傾斜共に殆んど前に同じ其他三叉口の部落より平台子溝の金産地に至る道路即ち溪谷の斷面に六條の石英脈あり二脈接近し其二は殆んど相並走し他の成脈に合せり而して是等相互の間隔は[illegible]又遠からず其六條中四條は走向北西にして傾斜垂直を示し幅一尺乃至二尺を算し他の複成脈は平台子溝の鑛脈と同じく西東に走り傾斜南西八十度を示し其幅は一は四尺他は十尺内外なり蓋し四條の脈は十尺の複成脈より分裂せるものと見做す事を得可く平台子溝の鑛脈とも全く關係を有せざるものゝ如し今採取せる鑛石に就き分析せる結果は六條の平均金痕跡、銀痕跡、平台子、金十萬分の二、〇〇銀百萬分の一、〇〇本鑛は十數年前より冬季のみ殆んど繼續的に稼行せられ居るものにして主として平台子溝を採掘せり目下冬季に附近土人集まり採掘し支那式十法に依り不純の金を淘汰し之を豐寧縣鑛務局出張員に賣却するものにして一人一日平均の稼ぎ高は約小洋一毛錢内外なりとす三叉口村落の背面にある鑛脈は目下稼行の者なく全く廢山の姿となり揚沙溝にある鑛脈も亦同じく其の露頭附近は既に亂掘せられたる跡を認む要之當地は天然原動力を利用し能はざるに加へ薪炭の缺乏又容易ならず其鑛量は大なるも有價成分たる含金銀の品位餘り良好ならざるを以て小規模の操業にては到底收支相償はざる可く有望の者と斷言する能はず

高麗人參の今昔（二）

總督府技師　宮家正義

△高麗紅參（前承）

現下實施せる紅參專賣制度は全く世界に類例なき朝鮮獨特の事業にして舊宮内府所管たりしが明治四十年度支部に移管したり當時積年の秕政と病蟲害の猖獗等に由り該事業は實に衰微の極に達し到底國家財源たるの價値に乏しく前途甚だ憂ふ可き狀態にあり殊に病毒の被害甚しく長年月投下せし資本と勞力は一朝にして廢滅に歸し爲めに耕作者の倒産するもの續出するに拘はらず其の豫防驅除等に關し研究救濟の道を講ずるなく自然に放任せしを以て紅參の産額著しく減少し天與の特産物も殆んど絕滅せんとする慘狀を呈せり從て其の産額の如きは明治四十三年即ち日韓併合の年に於ては僅々八百九十餘斤に過ぎざる如く衰退の慘狀驚く可きものなりし參政事務の度支部所管に移りて以來參政改革財源涵養を最要急務とし、主として病害豫防に關する各種の應用的試驗を施行し尚ほ各方面の專門家に調査研究を囑託し、銳意之れが豫防驅除に全力を注ぎたりしが其結果益々しからず、病害の主因を發見し、苗圃に對し播種前に充分土壤の消毒を行ひ移植に當りても參苗は悉く藥液中に浸潤したる上定植せしめ定植後病害に罹りたるものは採掘の上藥液中に浸潤し外科的治療を施したる後再植せしめ、夏季人參の生育期間は藥上より藥液を撒布し、葉上の發病を防ぎ、又害蟲の買上を行ひ、殺菌兼肥料を一般參圃に施與せしめ其耕作に精勵し優良なる人參を納付せしものには、金、銀、銅牌を與へて大に獎勵を行ひ、一方には參業資金を農工銀行より融通せしめ耕作資金の缺乏を救濟し、各參圃には政府自ら多數の巡查を配置して取締を嚴にし、水參買上の賠償金は豫め公示して猥りに變動せず以て耕作者に安を與ふる等斯業の獎勵保護に努めたる結果漸く回復の機運に向ひたり斯くて六年前の明治四十三年度に對し昨大正五年度は紅參製造斤數に於て約五十倍耕作面積に於て三倍強歲入に於ては約四十倍の發達を遂げ、一面蒸參の不完全なる製造方法を改良し、新廳舍及び工場其他諸般の設備を完全にし、益々製品の改善を行ひ絕えず需用地の狀況を討査し專賣事業の基礎愈々確實となり政府財源中の優位を占むるに至れり

△副産物

專賣の目的たる紅參製造の狀況は大略を述べたり、尚ほ近時副産物として政府の收入を助けつゝあるものは參精なり、抑參精なるものは紅參製造の際に於ける副産物にして從來は全く棄てゝ顧みざりしが紅參專賣制の度支部經營に移りたる後其製法を改善し此が試用の結果神經痛、胃腸病、腹痛、下痢、切傷、「リユマチス」打身等即ち内外に使用し効驗頗る顯著なること一般に知得せられたるため大に世の需用を喚起せるものを製造し各種の名稱を付し販賣するもの夥しく其狀恰も雨後の筍の如し

桂公の傳記を讀む

公爵桂太郎傳の着成したる記者は更らに同書を通讀するに當つて、同書が唯偉大なる、政治家の傳記として見るよりも、明治大正年間に於ける一大史乘として、未だ本編を凌ぐ者なきを知れり。卽ち桂公一代の公生涯は、明治戊辰前後より、大正初期に亙り、恰も明治天皇の御宇を貫串す。されば公一代の傳記は、勢ひ明治大正史ならずんば非ざる也。苟も此の期間に於ける史乘を研究し、調査せんとする者には、洵に屈強たるの資料となるべく、天下何人か出で來るとも、此の傳記を凌駕して、能く他に好資料を得んとするの途あらんや。勿論維新以來の、我政治家、偉人としては、伊藤公あり、山縣公あり、更らに遡って三條、岩倉二公を始め大久保あり、西鄉あり、木戸あるも未だ曾て適當なる傳記の現はれずして、是等の偉人を描く適當の作者の現出せざるを遺憾とせずんばあらず然るに獨り桂公に於て、此の稀有の傳記あるは何ぞや、擬うて此に至れば、洵に桂公程果報なる人はなかるべし。畢竟するに之れ公が、該博遠徹の識見と、豊富潤澤なる詞藻と、筆端雲煙を生ずる德富蘇峰先生の如き、大文豪を政友の一人に有せしに由らずんば非ず。若し夫之れなしとせんか、本書の如き曠世不朽の大記念碑は、到底望み得べからざりしや必せり。記者は更らに、本書を薦むると共に、倍々同書が、偉大にして、且つ正確なる明治大正史として、韓代に重きをなすを知れり

日報詩壇

○送遲官史東歸　兒島九泉
[illegible]

○春寒（限韻）　小永井槐陰
[illegible]
評曰　不覺巧而巧

○[illegible]　齋島[illegible]
[illegible]

○多夜讀書　成田將石
[illegible]
評曰　與亦有趣

○[illegible]　木田芳洲
[illegible]

商業登記公告

朝鮮實業株式會社監査役渡邊貢ハ大正六年二月二十八日辭任シタリ
商號新設
商號 商號人參製劑所
營業ノ種類 人參精原料ト人參ヲ用ヒ[illegible]
所在地 京城府黃金町四丁目[illegible]番地
使用者ノ氏名住所 [illegible]
右大正六年三月九日登記
京城府貫鐵洞五拾八番地 [illegible]
朝鮮煙草株式會社ハ大正[illegible]年[illegible]月[illegible]日株金[illegible]
右大正六年三月[illegible]日登記
京城地方法院

最新刊

[illegible]　九五
日語法　四五
國語[illegible]　九
人[illegible]　九
國語[illegible]
獅子吼
無我の生活
佛蘭西文學
當世百道樂
戸田[illegible]八郎
[illegible]三勝半七
トルストイ人道主義の根據　四五
金剛砂
關東庚學戰法要論
受驗必携朝鮮六法
京城本町一丁目　大阪屋號書店

會員募集

時價拾萬餘圓の極彩色浮世繪木版畫の再現

浮世風俗やまと錦繪

橋口五葉先生編纂　鏑木淸方先生賛助

「浮世風俗やまと錦繪」はあらゆる一枚摺の浮世繪木版畫の内より師宣、淸信、政信、春信、春章、淸長、歌麿、寫樂、榮之、北齋、豊國、廣重、等其他諸大家の傑作稀世の名畫を採りて全部を畫家の作畫期時代順に十二卷に分ち名匠に囑して木版の彫刻、極彩色手摺の妙術を盡し和裝の美を凝せるものにて現代容易に得難き浮世繪木版畫の再現にして、殊に卷末に各挿圖につきて編者の苦心なれる解説を附せるを以て併せて、江戸時代に於ける世態風俗の變遷は娛樂の裡に解し得らる、故に浮世繪木版畫の愛玩家は勿論、好古、歷史、美術、工藝等の專門諸家の好參考たるのみならず、殊に一般家庭にありては高尙なる娛樂品として、趣味多き珍書なるべし

極彩色木版　大奉書紙　手摺錦繪帖　和裝顏美本　全拾貳輯

會員壹千名を限る
錦繪見本送呈【郵券拾錢を要す】

毎月壹輯刊行壹箇年完成
會費貳圓五拾錢（前金を要せず）

東京市神田區錦町三丁目
日本風俗圖繪刊行會
電話本局五〇壹四番・振替東京三壹三〇番

第九回新學期開講

日本大學法制學會編

普通文官養成講義錄

立身の捷徑は

普通文官となるに在り全國無數の普通文官の席は年々空席を生ずる有爲の青年の來るを待つ一日も早く就職し獨立せんとする人活社會に雄飛せんとする人下級より一躍して高級の官吏とならんとする人は速に來り本講義錄は斯界一流の學者により平易懇切に試驗及第を唯一の眼目として編纂せられ年々多數の合格者を出しつゝあり

講師　中村法學博士 青木法學博士 坂倉大審院判事 其他斯界第一流の碩學 淸水法學博士 小林法學博士 柳川大審院判事 副島法學博士 横田法學博士 山岡司法參事官 十數氏

名譽顧問　正三位 尾崎行雄
會長　錦鷄間祗候貴族院議員法學博士 石渡敏一

入會の最好機來れり

卒業一個年
會則見本付　規定書入用　申込次第無代進呈
入會金の入會金免除　奬學金進呈　其他大特典あり

東京神田駿河臺袋町（電話本局三〇二、三七〇七）
日本大學法制學會出版部

たんせき良藥セキドミン
拾錢 貳拾五錢 五拾錢

此一語！
※サハノツル
一御家庭必備ノクドノ〈シク申上ルマデモナク
只一回ノ御試用デワカリマス

特約店
京城本町一丁目　佐藤牧商店　電話九二番
龍山漢江通　佐藤牧支店　電話二九四番

THE "PINE" PEN

紐育ピュメル會社製
十四金「イリヂユーム」付ペン付特製パイン萬年筆

京城日報社代理部
京城太平通一丁目
電話六六〇番　振替京城二〇〇番

[illegible]

[illegible]たるが買物多く[illegible]に入るも[illegible]したる[illegible]戻り[illegible]は又賣物多く三圓を押しするも新甫大阪二節三十錢丁度と更に新高値を報じたるも三圓二十三錢四節二十五錢と安入るも五錢と離れたるも買物多く二十錢と反落したるが押目は又買物多く[illegible]錢と返し五錢と大阪職相に不勞の成行を[illegible]

[illegible]三十三錢と五錢上するが[illegible]今[illegible]錢と戻しも[illegible]したるも利喰に新規[illegible]六錢と返し五錢と保合を告げたり市況[illegible]防の又復軟化し[illegible]たりとの說あり[illegible]事實なるや[illegible]計果して終りとすれば後一見居

▲今能く賣る
に上りたりとの事　一圓六千餘石の賣ありたる[illegible]
注目を惹いたり

▲今能く賣る
後場同店より賣りたる玉數五千餘石の賣ありたるも[illegible]

▲三能く買ふ
後場同店より買ひたる玉數七千餘石に上りたりとの事　一圓五千餘石の買ありたるも注目を惹いたり

▲十能く買ふ
後場同店より買ひたる玉數四千餘石に

▲イの商内
後場同店より賣りたる玉數五千餘石買たる玉數六千餘石に上りたりとの事

▲リの商内
後場同店より賣りたる玉數[illegible]千餘石買たる玉[illegible]

十四日後場（押目買）
	前場	中場	後場
寄付	一四九	一五二五	一五五〇
高値	一四九	一五三二	一五五九
安値	一四九二	一五二五	一五五〇

[illegible]三十四錢 [illegible]三十二錢 [illegible]
四錢 三錢 [illegible] 二十九錢 三十一錢 二十八錢 七錢 六錢 五錢 四錢 五錢 四錢 五錢 六錢 五錢 六錢

平均値段
一節 二節 三節 四節
十三圓三十四錢 十三圓三十三錢 十三圓二十五錢

支那對獨斷交通牒

十四日午後六時通牒手交か

支那政府の對獨斷交發表は十四日午前六時を以て行はる可し外交部は同日午後協商國側公使の來署を求め對獨斷交通牒に對する同意を求めたる上更らに獨逸公使ヒンツエ氏の來署を求め斷交の通牒を爲す筈なるが其通牒手交は午後六時ならんと（北京特電）

斷交反對と政局の將來

支那加入如何―兩國公使の意見

支那南方側は上海を中心とし對獨斷交後協商國側に加入に就き絶對反對を唱へ居り事態容易ならざる形勢を示し居れり而かも協商國側は支那加入に就て一種の義務を約し居れるも各國其利害關係を異にせるを以て切に支那に對して加入を督促するや否やは疑問なり現に十二日某兩國公使の意見なりとして聞くところに依れば『支那の態度に就ては協商國としては深く干渉するの必要を認めず寧ろ成行に委すべし又關稅改正の如きは主義に於て贊成なるも實際問題としては各國間の協定容易ならざる可し云々』と右の形勢より推すれば段内閣は斷交宣言後に於て一方ならぬ苦慮を見るべき虞れあり（北京特電）

武裝商船支那寄港

林駐支公使は武裝商船の支那港灣寄港に就き支那政府に交渉中なるが支那政府は之れに對し好意を以て應ずべしと（北京電報）

全獨主義は終に夢想

バグダット陷落と獨逸の齟齬

倫敦タイムスは社説に於て論じて曰くバグダットは既に英軍の手に陷ちたるを以て獨逸東進の道は杜絶されバグダット鐵道は其の終點を失ひ全獨主義的夢想は茲に敢なくも破らるゝに至れりされば其の獨逸人に及ぼす精神的影響は極めて大なるものあらん次に土耳古軍隊の破碎は戰略的形勢に影響する所多く土耳古は今や衰殘の極に達し救濟すべからざらんとす（倫敦電報）

英軍メソポタミヤ戰況

英國陸相は下院に於てメソポタミヤ英軍司令官モード將軍の戰況を報じて曰く英軍は敵狀を偵察したる後騎兵に代ふるに歩兵を以てしたるが敵は援軍來著せるより頑強なる抵抗を試みたり我軍は七日チグリス河に架橋し騎兵は右岸の軍隊の援助に依り直に同河を渡り渦巻く砂塵を冒し美事に十八哩の進軍を爲せり（倫敦電報）

湯旅長の馬賊嘯集

新民府に在る湯旅長は馬賊の頭目等を嘯集して張督軍を威嚇し從て同地在留邦人の不安甚だしきが十二日朝同領事館補は警部以下數名を從へ一方菊池中佐は張督軍の命に依り共に同地に赴き湯旅長に面會し我邦人の生命財産に危險を與へざる可きを誓約せしめ十四日朝歸奉せり（奉天特電）

汪使節の謁見

十七日參内勲章親書捧呈

支那特派使節汪大燮氏は來る十六日入京翌十七日午前參内宮中鳳凰の間に於て天皇陛下に謁見仰せ付られ同國最高勲章即ち稀世各國君主及び大統領等に贈進の大勲章（我大勲位菊花章頸飾に比す可きもの）並に黎總統の親書を捧呈する筈なるが右終つて陪食を仰せ付らるべく此の際陛下には該勲章を御佩用遊ばされ出御相成るべしと漏れ承はる（東京特電）

賜勳御沙汰

支那特使汪大燮氏に對し十六日賜勳の御沙汰在らせらる可しと（東京電報）

各派候補者數

十四日迄の各派立候補者數は四百五十名に達せり（東京電報）

客月釜山金融

內地朝米輸[illegible]買惜み等に[illegible]出廻り[illegible]勝なる[illegible]破を來し[illegible]氣配左して弛まず移出は極め輸移入方面亦獨米國交斷絶も影響を及ぼすと[illegible]鮮人向綿糸布[illegible]入[illegible]〇三[illegible]八五[illegible]圓にて前月殘高七、五〇圓を減じ二、三〇九、五〇圓に[illegible]一九四[illegible]六三〇圓に比し一六〇[illegible]

[illegible]日割[illegible]十六日雞州郡十七日求禮郡十[illegible]八日[illegible]都なり[illegible]衞生[illegible]

陳情 要に木浦商業會議所にて決議したる大正六年度以降の本道棉花指定買收入及び區域同價格廢止の件に[illegible]

[illegible]桑苗植付の實況を視察し之を奬[illegible]即日歸廳したり▲警務部長は十四日より各[illegible]

朝鮮師團徵區

十二月一日入營すべき朝鮮師團の兵員徵集區管は昨年と同樣十九師團は第一師管（伊豆七島及び小笠原島を除く）第三（名古屋）第十四（宇都宮）第十五（豐橋）各管第二十師團は第五師管（廣島）第十師管（姫路）第十二師管（小倉壹岐郡を除く）第十七師管（岡山隱岐島を除く）にして右は全國中人口の尤も稠密なる地方より徵募する次第なりと（東京特信）

東拓補給法案

昨年末を以て滿了せる東洋拓殖株式會社補給金給與期の延長に關する補給法案の改正は之に伴ふ豫算と共に來る臨時議會へ提出のことに略ぼ當局にて決定せるが其議會通過の場合東拓の受くべき補給金は改正案通過の時より月割として給與さるゝか又は大正六年會計年度の始期たる本年四月に遡りて給與さるゝかに就ては疑義無きに非ざるも前例は後者を採れるを以て補給するの豫算は本年四月よりの經費を計上さるべし而して昨年末を以て補給期滿了の結果給與を停止されたる本年一月乃至三月分の補給金も亦復活さるべしとの說をなす者あるも之が復活は全然不可能なりと（東京特信）

地方費模範林

各道地方費模範林の大正五年十月末日現在狀況を聞くに同年八月末日までに於て國有林の讓與を受け設置したるものは總計八十八箇所にして此の全面積六千六百七十一町二反二畝二十一歩に達せり今之を道別に表示すれば左の如し

道別	全面積（反下切捨）	箇所數	平均一箇所面積
京畿道	七〇〇三	六	一一六六
忠淸北道	四二一三	一五	二八〇
忠淸南道	三六五九	六	六〇九
全羅北道	一二一九	四	三〇五
全羅南道	一五四三	一	一五四三
慶尙北道	四七〇六	六	七八四
慶尙南道	三二九六	四	八二四
黃海道	五九八八	三	一九九六
平安南道	九二二五	九	一〇二五
平安北道	九九二九	五	一九八六
江原道	七二九六	二一	三四七
咸鏡南道	五一四九	六	八五八
咸鏡北道	三四七九	二	一七四〇
計	六六七一二	八八	七五八

即ち箇所數を比較すれば江原道の二十一箇所最も多く全羅南道の一箇所最も少く之れを平均すると一道約七箇所の割合となり又た全面積を比較すれば平安北道の約九百九十二町步最も多く全羅北道の約百二十一町步最も少く之を平均すると一道約五百十三町步に相當し更に之を各道別に一箇所の平均面積を見るに黃海道の約二百三十一町步最も多く忠淸北道の約二十八町步最も少く各道を通じたるもの約七十六町步なりとす而して前記箇所數全面積に於ても比較的多きは江原、忠北、咸北、平北、慶南、全北、慶北、全南の順序に依り又平均一箇所の面積の比較的大面積の模範林を散在的に設置したるは全南、咸南、平北及び京畿の五箇所なり

棉花栽培事業概況（下）

今や試作時代を經て普及期に入る

陸地棉の栽培事業は今や試作時代を經て普及時代に及び其の栽培希望者は益多く逐年栽培區域を增加するに至れり明治四十三年以來の陸地棉作付反別及び收穫高並に作人數は左の如し

年次	作付反別（町）	實綿收穫高（斤）	作人數（人）
明治四十三年	一、一三〇、〇一	八六〇、二三三	二、九〇〇
同 四十四年	二、六八〇、三四	二、三七二、〇七〇	四、一〇八
大正元年	六、四九九、三六	七、三二六、一一三	七、七五〇
同 二年	一三、九七七、〇	一三、四四五、三八〇	一三、〇六四
同 三年	二三、〇〇七、九	二七、四〇七、四三三	一八、〇三六
同 四年	二八、三三三、九	三八、六六八、三三七	二二、三四九
同 五年	四〇、九九一、六	四二、九三一、四四〇	五七、一九〇

（豫想）

陸地棉收穫量の年々增加せるは前表の示す如くなるを以て朝鮮より內地へ移出する棉花の內其の在來棉と陸地棉との數量は之を明白に區別すること能はざるも年々移出の增加額中に於ける

▲陸地棉增加 の步合は極めて多大なること疑を入れず明治四十三年以來移出したる價額を表示すれば左の如し

棉輸移出價額累年表

年次	價額
明治四十三年	三〇四、八六四圓
同 四十四年	二五二、三〇九圓（內三三圓は支那へ輸出）
大正元年	四三五、五九八圓（內二〇三圓は支那へ輸出）
同 二年	九二四、九四五圓
同 三年	一、一〇七、九五三圓
同 四年	一、一五七、六六四圓

（備考）四十四年の棉移出價額の四十三年に劣れるは棉花相場の下落せると賣惜みの結果移出數量の減少せるとによる

目下普及を圖りつゝある陸地棉『キングスインプルーブド』種は在來棉に比し

▲如何に有望 なるかは勸業模範場木浦支場龍山試驗地に於ける左表の陸地棉及在來棉比較試驗成績に徵し明瞭なり

種別	反當實綿收量（斤）	繰綿步合（%）	反當繰綿收量	纖維ノ長（糎）	纖維ノ幅
キングスインプルーブド	二六六	三五、三	九四	二、六〇	〇、〇二五
在來棉（龍山）	一六二	三三、一八	五三	二、〇〇	〇、〇二九

（右ハ箇年平均）

即ち陸地棉は在來棉に比し啻に反當實棉收量多きのみならず其の繰綿步合も亦多きを知り得べし棉花の出產地たる全羅南道木浦光州等に於ける棉作と他畑作物との收支計算に依るときは該地方に於ては今日如何なる作物と雖も陸地棉の

▲貴益に比肩 するものなき結果を示せり從て一般農民の栽培希望者年々著しく增加せるは上述の如し但し茲に注意すべきは陸地棉の種子馴化の關係よりして新輸入種を以て栽培せしむるときは好結果を得難きを以て一旦朝鮮の風土に親しめたるものを供給せざるべからざることとす陸地棉の普及夫れ如斯良好なる成績を見るに至りたるを以て此機會に乘じ益之が普及獎勵を圖ると同時に在來棉の改良に努力せんとす

上旬內鮮貿易

三月上旬に於ける內地朝鮮貿易の狀況を聞くに移出百二十四萬五千圓移入百七十四萬一千圓にして差引入超四十九萬六千圓を示せるが一月以降の累計は出超三百十一萬一千圓となれり

▲大阪朝鮮貿易 同期に於ける大阪朝鮮貿易は移出三十四萬五千圓移入八十二萬九千圓にして差引入超四十八萬三千圓を示したり

鮮鐵荷動概況（下）

▲木材● 本品の荷動は正月以來大なく毎旬二千噸臺の出荷を維持せり而して其大半は新義州及安東縣發鴨綠江材にして主として京城、大邱、平壤等地方建築材及び兵營建築用材とす

▲大豆● 客冬來の停滯は未だ一掃されず尙ほ夥しき數を殘するも出廻り力不足に因り[illegible]の荷動數旬に於ても大差なく本旬に於ても一日平均二百噸臺を出でずと雖も之を前年に比較する時は噸數に於て九百二十三噸を增加せり本旬中內地連帶陸運數量は千六百四十七噸なり其主要驛を擧ぐれば左の如し

驛名	噸數	驛名	噸數
下關	二一七	名古屋	八四
尾道	一二六	廣島	八四
半田	一〇三	門司	八四
兵庫	一〇一	博多	七八
鹿兒島	一〇五		

右の外九州中國筋の主要驛は勿論遠く關東信越地方に及び相當出荷を見たり

▲鑛石● 依然荷動好況にして前年に比し十二割五分の增加を示せり本品の出荷數は毎旬大差なく荷筋も新安州發本溪湖行三井兼二浦鐵鑛所に集荷せらるゝ鐵鑛及び鎭南浦久原精鍊所に集荷せらるゝ金銀鑛石を主とし外に論山、南大門等より少量の重石等の出荷あり

▲豆粕● 需要季節に入り荷動益々活況を呈し總數千六百七十噸を出荷せり仕向地は主として九州とす而して本品は從來內地移出に限られたる狀態に在りしが本旬に入りては當局線（京釜湖南線）著百十噸を輸送したり

▲生牛● 出荷全部內地移出にして平澤、鳥致院、大田、論山發木浦經由百頭、新義州發釜山經由十八頭都合百十八頭也之を要するに本旬の貨物運輸は前旬に引續き好況にして米を最とし需要期の關係により豆粕等を始め一般荷動概ね殷盛なりしを以て收入に於ては前年に比し三割强の增收を見るを得たり

山田局長葬儀

十五日午後五時谷中にて

十三日夜逝去せし朝鮮銀行國庫局長山田松熊氏の葬儀は十三日午後五時東京府下谷中の墓地に於て神葬にて執行すべし

▲鮮銀の遙拜式 京城朝鮮銀行の有志は相圖り十五日午後正五時より銀行本店內テニスグラウンドに於て故山田松熊氏の遙拜式を神式にて執行する事に決定したるが朝鮮銀行員は勿論一般の參會者多かるべし[illegible]は前者の際は公衆諸君にて之れを[illegible]

鐵道大貨物賃金改正

鐵道局にては貨物賃金の一部を改正し左の通り大正六年四月一日より之れを施行する事となれり

▲粗[illegible]

驛名	運賃一噸（百七十斤以內）	同線內
久留米	三八〇	四五〇
笠山	三八〇	四八〇
大田	三八〇	四八〇
鳥致院	三八〇	四八〇
南大門	三八〇	四四〇
仁川	三八〇	四四〇
馬山	三八〇	二二〇
平壤	三八〇	五四〇
新義州	三八〇	六六〇
鐵原	三八〇	五六〇
江景	三八〇	四五〇
群山	三八〇	四四〇

京城學校組合豫算

大正六年度京城學校組合豫算は十四日道廳より內承認あれば一週間を出でずして組合會議を開催さる可し尙豫算の大體は前年度と大差なく本年度に於ては新山方面小學校擴張費等其重なるものなりと

農林專科生徒募集

總督府にては來る四月より京畿道水原郡所在農林學校に專門科設置の事は既報の如くなるが同時に生徒の募集に着手したり同校は修業年限三箇年にして募集定數は朝鮮人三十人、內地人十人、入學資格は朝鮮人に在りては年齡十六年以上にして高等普通學校を卒業したる者又は之と同等以上の學力を有する者、內地人は年齡十七年以上にして中學校を卒業したる者又は之と同等以上の學力を有する者にして共に品行方正にて身體檢査に合格したるものに限るも朝鮮人にして高等普通學校又は中學校を卒業したる者、內地人にして朝鮮總督府中學校を卒業したるものゝ數、募集定數に滿たざるときは學校試驗を行はず又た內地人に於て朝鮮總督府中學校を卒業せざる者に在りては、先づ朝鮮內に住所を有する者の子弟に就き之を採用す、試驗科目其他の詳細は十四日附總督府官報を參照す可し

白潤洙氏の篤行

京城府瑞麟洞百四十九番地白潤洙氏は資性溫厚篤實にして目下鍾路一丁目に於て絹布商を營む外銀行會社等に關係し夙に公共心に富み從來善行少からざりしが今回明治神宮奉贊會へ金二百圓聯合國傷病兵慰問會及び帝國軍人援護會へ各金一百圓づゝ寄附致し度旨を以て京城府に出頭し之れが取扱方を府尹に依賴せり同氏の如きは是迄一切の勸誘を試みたることなきに拘らず進んで前記の如き多額の寄附を爲すは世にも稀なる篤志家にして誠に奇特と謂ふべし

花井博士歡迎會

十四日京城高等法院に於て朝鮮鐵道請負業者談合事件に告辯護の爲め花井博士及び大井辯護士の入京を機とし同廣島縣人在京者中野保安課長時永總務課長其他民間有志者發起の下に廣島縣人會を兼ね十四日午後六時半より朝鮮ホテルに於て兩氏の歡迎會を開催せり

花井勝本兩博士

談合事件上告公判の爲め入京せし花井勝本兩法學博士は十五日午前八時三十分南大門發列車にて出發歸東の豫定

眞野警視赴任

新任新義州警察署長警視眞野景象氏は十四日午後九時四十分南大門驛發列車にて赴任せり

人事消息

▲飯塚源之助氏（東京貿易商） 十四日來京
▲尾山直治氏（久原鑛業會社技師） 同上
▲河・鶴氏（兼二浦三菱社員） 十四日夜入京朝鮮ホテルへ
▲牧井織右衛門氏（實業家） 同上
▲藤原富太郎氏（同） 同上
▲大野四郎氏（岡山大野織物會社取締役） 同上
▲佐々木碩氏（岡山實業家） 同上
▲鈴木四郎氏（三井物川滿山員） 同浦尾館へ
▲篠田治作氏（平安南道第一部長） 同不知火旅館へ

南吉北語

歐洲大戰の結果として職業を失つた歐洲の男女が盛んに米國に入り込んで如何はしい商業をする▲男は何處かの勲章を胸に付けて歐洲戰功の勇士と振れ込む實は伊太利佛蘭西邊で旅行客の案內をしてゐた連中である▲之が面白い戰爭の話をする何でも珍らしい物の好きな米國の女が此類の男に引掛つて莫大な金を捲き揚げられる▲之を防ぐ爲めに紐育第一のホテル、ウオルドルフ、アストリヤでは女探偵を賴んである▲女探偵は皆んな二十歲前後の美人で貴婦人らしく裝つてゐる▲之がホテルの待合に休んでゐる件の男が往つたり來たりする終には側の椅子に腰を卸して話しかける斯くして女を釣らんとするのである▲愈々歐洲から稼ぎに來た連中と分れば女はホテルの番人に其と知らせる番人は男を捕へてホテルから追拂ふのである▲女でも矢張り歐洲から稼ぎに來る連中がある波蘭の伯爵夫人と稱して獨逸占領地の波蘭人救濟の義捐金募集と云ひ或は白耳義の男爵夫人で白國義捐金募集と云ふ中には贋物もあるけれど大抵は戰爭で旅行客相手の職業を失つた渡り者である

學生募集
東洋大學
書籍哲學館 學長大內靑巒 所在地東京小石川區原町 學則は郵券二錢送付すべし
大學部 四年（倫理哲學科）（國漢哲學科）
專門部 三年（倫理教育科）（倫理國漢科）
●四月十一日第三十學年授業開始●中學校師範學校又は同程度の學校卒業者は無試驗入學許可其他は第三種生に編入●中學中等教員無試驗檢定の特典あり●別に佛教講座を設け隨意聽講を許す●卒業生中徵兵猶豫●入學期限四月一日より三十日迄願書は本月より受理す

可鍛鑄物
鋼鑄物
銅（秘密の配合に依り從來品に優る）
◎眞鍮、砲金、アルミニュム、臘銑鑄物
◎アルミニュム接合
京城古市町三十七番地
京城自働車工場
電話九六五番

小笠原勝著
文部省 小學英語讀本自修書
繪入字解
第一冊 第二冊 各金二十五錢
本書は現今小學生徒の多數に用ひてある小學英語讀本の字引で綺麗なる彩色の繪を入れて解り易く自習する仕組で兒童の自習に最も便利に說いてあります

小笠原勝著 英語のをしへ 好評十九版 頁數三八六頁 正價冊八錢 郵稅六錢
小笠原勝著 小學英語獨習 好評廿一版 頁數四百頁 正價卅錢 郵料四錢
兩書は先生に就くことの出來ない初學者が座ながら獨習の出來る樣エービーシーから五十音讀方より會話に至るまで新式の教授法を以て詳しく解してあります中學三年位までの力は充分つきます又其生徒諸君が英語讀本を讀むにも亦大なる助けとなります
發行所 東華堂

京城出張所開設披露
今般前記の個所に出張所開設致候に付萬々御引立御愛顧を賜り度此段御願ひ旁々御披露申上候
大正六年三月十五日開業
京城府南大門通り三丁目十二番地
共濟生命保險株式會社 京城出張所
電話二九四四番、振替京城四三七二番
東京市日本橋區小舟町三丁目
共濟生命保險株式會社 本社
社長 安田善三郎
顧問 安田善次郎

慶應大學學生募集
理財科 法律科 政治科 文學科 豫科一年
●豫科二ケ年本科三ケ年●願書（必要書類寫眞試驗料）三月廿日ヨリ四月四日迄ニ差出ス同時ニ志望科ニツキ届出ヅベシ●試驗 英文和譯、和文英譯、日本作文、四月五日施行
醫學科（新設） 豫科一年
●募集人員壹百名●豫科二ケ年本科四ケ年●願書（必要書類寫眞試驗料）三月十日ヨリ同廿二日迄受理ス●試驗 國語漢文、英語、代數幾何、物理、化學、動植物 三月廿六日ヨリ施行
▲規則書入用ノ向ハ郵券二錢東京芝慶應義塾ヘ宛送ラルベシ▲

廣告
木炭廉價販賣
新幕產根炭上等
但し百俵以上御入用の御方樣には特に御相談可仕候
京城岡崎町
三幸洋行
電話二八〇〇番

外科 內科
一般花柳病科
一般皮膚病科
普通及隔離病室完備 診察夜九時迄
京城旭町一丁目（本通り左に入る）
島崎病院
電話二七三六番

…場は當月に入りても依然輸送機關の影響を受くること尠なく只市…的付並に輸出爲替資金の需用更に之れを當地七銀行の月末帳尻並びに…四、四三五圓の增加を示せり手形交換高の如きも前月に比し七三七、八…硬塞、內地朔米安に因る與地農家の弛みを見たるのみにて大勢は依然強と見るべきものなく金融引續き閑散を手形交換高等に徴するに貸出殘高七…

…臨時委員は先般任命を見たるが開會…

▲分監長會議　光州監獄にては十三日より全州群山木浦の三分監長を召集し分監長會議を開く　▲稻花問題…宮木道長官は十三日和順郡に出張…

▲濟南道▲示度七五六粍▲進行方向…南東▲警戒區域全羅南北道、黃海道、京畿道、慶尙南道沿岸

夜に入りての辯論
談合事件の上告公判

十四日午前十時を以て開廷せられたる京城高等法院に於ける京釜鐵道請負工事談合事件は正午休憩後更に渡邊裁判長以下の秋官一〆辯護人出廷を待て開廷さる傍聽人は午前にも增して多く廷外に溢れたり、大井辯護士の第二審に於ける原判決を不當とする上告理由に就いて簡單なる辯論ありて終るや

◆勝本博士立つて　同じく原判決不服の理由を九項に分ちて論述したるが博士は獨逸刑法及び同警察犯處罰令等より本事件に適合する條文判例等を拔き來りて其の立法の精神を詳述し更に吾國に於ける現行の刑法並びに朝鮮總督府の發する警察犯處罰令等を比較して原審が與へたる被告等の談合行爲は詐欺取財なりとの斷案に對して被告等の行爲は談合を以て

◆當該官廳を欺罔　せんとして果さゞりし道行なり、權利の騙取を行はんとして完結せざりしものなり、即ち不作爲に因る詐欺ともいふべきものにして斯る場合に於ける未遂行爲を以て詐欺といふは當らず、此の點に就いては大いに研究を要すべき所なりと結び、續いて安住辯護士は木尾辯護人は原審判決破棄上告理由を

◆十一項に分ちて　辯論する積りなりしも本辯護人の言はんとする所を前辯護人に於いて論ぜられたる部分は之れを略すべしとて原審に於て競爭入札と隨意契約の差異の見解を誤まり居れる事、談合に關する意思表示に就ての法理上の解釋に就て原審判決と見解を異にする事、入札に關して秘密保持の義務なき事、犯罪の場所を明記せざりし

◆原判決の理由不備　新に發見せる第一談合事件が談合の形式に據らざりし事實、同じく第二談合事件が入札の結果によつて談合の破綻を招きたる事實等を擧げ本辯護人は行爲の本質上隨意契約は確定せる詐欺に非ず、被告一同を無罪とせられたしと述べ結びたり

◆談合事件公判の傍聽席

▲檢事の論告は十五日か

斯くて四時十分裁判長より一先づ休憩の旨宣告あり約三十分間休憩の後開廷赤尾辯護士は要點を八項に分ち原判決を基礎として前記各辯護士同樣辯論し次いで內田辯護士は六項より成る要點を述べ終るや朝倉辯護士は十五項の要點を提げて起ち約一時間に亙り前記各辯護士の論述と大同小異の辯論をなして著席す此の外尙木尾辯護士の辯論ある筈なりしも時間の都合其他に依り當夜は一先づ中止し更らに十五日午前十時より引續き開廷する旨裁判長より宣告あり閉廷したるは午後七時過ぎなりし因に十五日は午前中木尾辯護士の辯論あり其れより多分檢事の論告に移るべしと當日傍聽席は閉廷時刻迄滿員にて中には態々平壤地方より入京したるものさへあり何れも今後の成行きに就き深き注意を拂ひ居りしもの丶如し

夥しい砂金が到る處に
新しい町が開けて行く西比利亞　では邦人の移住を歡迎してゐる

露西亞の商工業を視察して歸つた農商務省書記官野守廣氏の談に曰く

『朝鮮滿洲に陸續の露領西比利亞は

□戰爭以來　邦人が益々增加した、由來日本人は福島將軍の單騎旅行で雪の西比利亞を承知して居れどそれは唯だ狼と虎と嚴寒と曠野との西比利亞であつて彼地が自然の恩惠に富き

□金儲けの　出來る寶庫たるとは一向に知らぬ、現に私の視察した黑龍江鐵道の沿線では殆んど到るところ豐富な砂金が出る、殊にブラゴエシチエンスクの東ゼアーに於ては大きな

□金柑大程　の砂金が出る、イルクーツクの北方ボダイボの金坑に於ては貧て四貫百五十匁の大金塊を發掘したこともあつた、西比利亞の産金額は四年以前の統計によるも一箇年

□二千萬留　の巨額に上り尙其の他鑛物に角盛んなものである、其の他鑛物には鐵があり、石炭あり、銀鑛あり近時また大黃石鑛と大水銀鑛を發見した邦人もあつた、それに露國境のウラル山からは有名の寶石を産し實に非常に

□鑛産に富むで居る、猶ほまた西比利亞では穀物などの農作もよく出來るし貿易もまた將來有望である、住民は主として露人の移納者ばかりで以前流刑人のみが居たと聞いて

□不安心に　思ふ人もあるが實際は那麼人々が今は居らず極めて親切である、元來露西亞人は自分自身で商賣するとは極めて不得手の方であるが昨今では殆ど商けを貰つて

□顧客に品　を賣つてやると言ふ風で午になれば店頭何程のお客が押しよせようとも平氣で午後一時までは商賣を休む　それに物資の缺乏は歐露より甚だしく就中砂糖、麥粉、油類等は非常に拂底な所から

□買手には　一人何程と制限して販賣する、燐寸なども五圓以上の買物した人には一つ宛賣つてやるといふ風でこれを日本人などのやうな遣方で勉强したならば非常に面白からうと思ふ、それに一般露西亞人は極めて

□無邪氣な　ゆつたりした國民で商店などでも一度信用したら永く久に其處に行くといふ風でその爲め商品の賣値段にも統一がない各店各樣の値段で賣つて居る、猶ほまた私が面會したイルクーツクの市長は同地附近のアンガラ河船橋を是非鐵橋に改築したいが工事は

□日米國民の中なるべくならばわが與國の日本人にさせたいと言つて居つた、樣樣風で西比利亞に於ける邦人の氣受けは洵によく新進の町としてはノーニコライスク、エカテリン、トムスク、オムスク、エカテリンブルグ等があり、イルクーツク附近…除り邦人が

□發展して居らぬ、猶ほまた從來邦人の商權を自分一手に獨占して居たチユーリン商會とクンスト、アルベス商會の二百貨店は遂に同チユーリンのみ殘つてアルベスは解散を命じられた、これはアルベンの主人が獨人であつて總支配人のダツタンは西部西比利亞に

□監禁中で　あるから將來西比利亞の商權はチユーリンの獨占になると思ふ、チユーリンの商館はブラゴエシチエンスクのみにても二三一箇年の賣上一億留に餘り獨り西比利亞ではチユーリンの獨占を今千萬圓の賣上額に達して居るので現に批難するの聲もあり、現に昨今コンダツチ

□總督の許　に獨占不可の請願を出した露人もあるといふとなれば此の際日本の大商人が奮發したならば面白からうと思ふ』

◇小さな胸に心配して

（十四日午後三時京城高等女學校前）

及第！　まあ、嬉しい
京城高等女學校の入學試驗成績發表

京城高等女學校の入學試驗の成績發表でたか〱の胸は十四日午後三時は芽出度く

□試驗に　通過つた人の氏名は廊下に雀躍のやうな字紙に記されて張出される、一番目の氏名に時習多喜子さん、二番目の黑田つさんから江原喜子さん、簡單了子さん、自分の

□名前の　見付る度びに喜び下げの人は躍りあがつて「あゝ、嬉しい……!!」と兎のやうに跳ね廻る、その中に襷をつけた大きな姉さん達も押かけて來て『あら、自宅の妹より二番も上よ、此の人は!!』と鈴のやうな

□眼球をくり〱させる人もあれば『佐藤さんの夜中に見た夢の通りねエ』との保護者もある、南大門小學校からは先生が來て心配さうに見廻しながら急にニコ〱して

□自轉車を飛ばす『隈部教務部長殿のは如何でござる』と憲兵さんがサアベルをガチャ〱いはせてやつて來る。成績はよかつたがはねられて泣く人、通つてうれし泣きに泣く生徒『歸つて袴に筋つけるよ』と躍り上る生徒、兎に角運動場は

□非常な賑はひ、及第者は總數百九十二名、缺席者五名と芽出度くない人が五十三名とで五十八名のはねられた人、志願者は京城府內が二百八名中百六十八名通り

□地方は　三十七名中二〇名、內地の人は五名の中四名通つた、中には京城中學校の罪數研究教授に卒業した二人の無試驗入學生もあつた　試驗に通つた人は四月二日の入學式に保護者同伴で午後一時までに行かねばなりません

大阪國技館　地鎭祭
竣成は十月末

大阪國技館建設は愈な實行の運びとなり去る十一日同市新世界建設用地に於て協會役員發起人等參列の上莊嚴なる地鎭祭を執行したるが今同館の

▲構造の模樣を聞くに間口百四十尺奧行百五十尺五十坪建坪六百十三坪六合八勺四方高さ九十尺の鐵筋なる四階建にて全部鐵筋コンクリートにて堅牢を旨とし周圍の壁は煉瓦を內外作形積になす外路用部分はタイル又は人造石塗を以て美觀を添へ內部は漆喰塗とす而して觀覽席の上は鋼を以て組立て屋上は大部分硝子張となし中央に窓を設けて周圍を陸屋根とし觀客其他の運動場に充つる等頗る斬新なる構造なり又

▲室內の設備に就ては特に意を用ひ階下は土俵の周圍を客席とし與側に力士溜及洗足場を二階は正面貴賓席及び便殿を設け此他休憩室及食堂に充て三階は特等客休憩室及び普通觀覽席四階は正面中央を櫓太鼓の位置とし其裏を番組編製及び機客室とし各階共何れも後方に廊下を設けて聯絡し全部通して約一萬三千人の觀覽者を收容せん見込にて設備萬端全國の國技館劇場の長所を參酌して設計したるものにて十月末迄に

▲落成の豫定なるが竣工の曉は大阪の新名物として一異彩を放つべく期待され居れり尙協會側には、之れと同時に朝日山の横綱を申請すべき意向なりと（大阪支局）

東拓倉庫燒く
◉開城

損害は建物のみならん

十四日午後七時半開城東洋拓殖會社倉庫より出火し折柄の烈風に煽られて火の手は猛烈を極め瞬く間に四十餘間奧行七間の平家建全部を燒失したり發火と共に開城消防組にては組頭以下總員出動し一方開城憲兵分隊員警察署長以下及び…共に消防に努めたる結果幸に他に延燒せず約三十分の後鎭火したるが何分人家稠密の場所なる上附近に飛火等あり一時は中々の混雜を呈したるが發火の原因及び損害等に就ては目下取調べ中なるが倉庫內には蓄積の粮も僅少なりと言へば損害は主として建物のみならん（午後八時開城電話）

馬山を騷せた　生首事件

去る七日午後三時頃慶南馬山小學校高等科一年生は受持教師浦川訓導に引率せられ舞鶴山の麓に赴きたる際一生徒が玩月里と稱する日本人共同墓地附近の叢中に血潮に染める人の生首の轉がり居れるを認め同生徒は驚きの餘り悲鳴を擧げて浦川教師に其旨屆出しより訓導も捨て置けず生徒と共に現場に至り實見の上馬山署に急報せるより同署より係官出張せしに生首は跡形もなく取り捨てられ居るにぞ其後行衛を取調べ中去る十一日に至り生首の本尊は馬山府玩月里四百五十六番地農業白士忠（六七）の二女白少蓮（六）にて少蓮は去る一月廿七日病死し之を埋葬したるに其の埋め方淺かりし爲め野犬が掘り出し首と胴を噛み切りたるを前記の如く生徒等に驚かれ爲めに父白士忠は生徒の歸校を待ちて件の生首を自宅の墓地に持ち歸り埋葬したるより醫師檢除の際發見せざりしものと判明し馬山を騷がせた生首事件は全く解決を告げたりと（馬山特電）

五千餘圓在中の　行嚢發見さる

客月二十七日江原道杆城郡巨津沿岸に於て遭難せし朝鮮郵船會社汽船全羅丸に積載し居りし郵便行嚢物中現金五千百圓在中の郵便行嚢は爾來捜査中の處三月十二日船中に於て發見せられ在中金圓異狀無し

劇藥を仰ぐ

京城太平町二丁目朴召史方同居李正三（四七）は十三日午後六時半頃居宅にて洗濯用苛性曹達を仰ぎて自殺を企て苦悶中を家人に發見され應急手當を加へしより生命に異狀なし同人は安國洞金某より薪炭の販賣方を依賴せられ是が賣掛代金二十餘圓あるも一向に集らず荷主より嚴重なる督促を受けしを悲觀し此の始末に及びたるものなりと

慰問義金募集

愛國婦人會朝鮮本部支部及び委員部にては目下聯合軍傷病兵罹災者慰問義金を在鮮婦人間より取纏め中にて釜山委員部より率先金一百圓を朝鮮本部に送り來れるが其他各地に於ける慈善演藝會又は各個人に就き相當の義金を得べく盡力中なりと

女工採用ス　尋常小學卒業者ニシテ年齡十五歲乃至二十九歲ノ者希望者ハ自筆ノ履歷書ヲ至急持參スヘシ　大正六年三月　總務局印刷所

生徒募集　一年男女　來年三月十五日限無試驗出願順許可ス　縣下己ニ卒業生在校生多シ　廣島縣賀茂郡西條驛　准教員無試驗檢定　私立松本教員養成所

株式名義書換停止公告　來ル四月一日ヨリ定時株主總會終了當日迄當會社株式名義書換ヲ停止ス　右定款第十八條ニ據リ及公告候也　大正六年三月　朝鮮郵船株式會社

●菊●苗　當方は十數年の實驗に依り徒に頒布に類例なき珍種を無數に蒐集し之が頒布に當りても充分の責任を以て既に好評嘖々たり　愛好家の高評…培養法名鑑…希望者は二錢切手封入申込次第　大阪市外天王寺…一丁　猪子園菊場

亞鉛鑛、銀鉛鑛、銅鑛、鐵鑛。右の鑛種に對し鑛區買入（許可鑛區先願權）　鑛業經營資金融通、鑛物買入　猶實地調査の都合有之候間御希望の方は至急御申込み被下度候　京城明治町一丁目七番地　正己鑛業所　主任　熊谷忠直　電話一五九番

富の道しるべ　山縣五十雄　村上唯吉共著　價十五錢　郵稅二錢　京城太平通　振替三〇〇番　京城日報社代理部

京日案內

普通　意志と身體と健全にして不遇路頭に迷ふ不幸の人は來れ▼　京畿道…荒井德一　682

里子預りたし　太平町二丁目　豐後床佐藤へ　689

▲申込後中途解約の節は料金返戻せず　▲六週以上の御申込は特に割引　▲御照會の節は返信料御添付　▲記入を乞ふ

番外　融通　月收の御方へ極秘迅速簡易立替御都合ヲ伺文は御來談　京城大和町三ノ三（柄驛前）起木屋　677

◎◎古本熱心高價買入　◎◎是非御試賣を乞　◎◎電話二七八一番　▲▲御報參上　▲▲本町四　▲▲普耳群書堂　631

採鑛監督員約十名採用　高等小學卒業以上の學力ある者三月十六日午後二時履歷書携帶本人來談あれ・京城府明治町一丁目　小林鑛業本部　687

魔法瓶　中瓶取替　專賣　銅線織柵製艶　京城本町一丁目　高木旅行用具店

◎鑛物定量分析　太平町二丁目　朝鮮公論社左横小路　電話長二三四四　坂元分析所　681

恩給　年金　長期　即時立替　西村商會　京城若草町中央郵便ポスト前入　支店京城永樂町一商品陳列館前　勸業債券商買入　電話三〇一番　647

新古ミシン賣買　並に修繕　●針油部分品販賣　京城鍾路ニバコダ公園近　電二三三八　楠商店　667

賣地　南大門通二丁目漢湖農工銀行南隣三十坪餘　京城黃金町二丁目電話一〇五番　時計御商　喜多金光堂　670

夏向用品新荷著　◎絹綿洋傘　◎各種帽子　◎メリヤス類一式　◎文房具一式　◎各種雜貨　右新荷著仕り候に付精々廉價勉強可仕候條多少に不拘御用命の程願上候　各種雜貨卸商　京城南大門通一丁目　瀨戶勝兵衛商店　電話二一七一　振替二四〇一七番

琴古流尺八教授　川瀨御門人　久保田啓藏　臨國人及團體出張教授　申込所　京城大和町一ノ九　電話一七四〇

眼鏡製作　今般眼鏡製作工所開設仕り候に付ては從前よりも層一層急速及價格低廉を以て御用命に應じ申す可候間御引立の程願上候

米國製金張玉付　甲　六、五〇〇　乙　三、五〇〇　丙　…

九金細ヅル　十四金同　十八金同　二十金同　廿二金同　十八金縁ナシ玉付

銀縁　一圓卅錢以上二圓五十錢迄　赤銅　八十錢同二圓五十錢迄　赤銅金次分　二圓五十錢同五圓迄　鐵金穴明　二圓五十錢同五圓迄　"ニツケル"硝石用　植物用　六十錢より一圓まで　眼鏡各種　…各地方より御注文の節は代金引替にて直に御送附申上可候　京城本町一丁目（郵便局前）

中村メガネヤ　電話千百十七番　振替京城三四六番

りん病　多年の困る方　消渇で慢性もの　自宅で人知れず安全秘密に治す良藥あり只一劑を試みよ此藥は他の藥店になし切手三錢添一日も早く申込あれ其良藥と自宅治療の詳細を教ゆ　名古屋市南かじや町　武藤亀吉

最良の　かぜ　ねつ　藥　カギヤピリン　◎病的に效能あり・全國各藥店にあり　◎面白い程よくきく良藥なり　◎かぜ藥は必ず本劑を服し常に家庭に備ゑ少しにてもかぜの氣味あらば彼是と手遲れせぬ樣直ぐ服用せよ　◎面白い程効あり　◎小兒には小兒カギヤピリン　◎アンチピリン　◎アンチへブリン　◎アスピリン　等類似の他品あり御注意　藥價　五錢●十錢●卅錢●一圓　本舗　名古屋京町二　荒川長太郎

怒濤の月

百七 小林蹴月作 武内桂舟畫

袖の涙 【二十】の二

銀さんに騙かれて、此處へ身を沈めてから、今日で五日目の絹代は、愈々その筋の手續きも了つたとやらで、否が應でも、今夜からは座敷に出ねばならぬ運命に立ち至つた。お寅の所謂不動の金縛りに會つて居る絹代は、今まで折角立て貫いて來た操の一念も、最早根本的に突き崩されて了ふより外、途がなくなつたのである。

客足が出盛る十時間近であつた。抱へ主のお鹽とか云ふ鶏拌上りの中年増は、一杯機嫌の瞬へ褐枝で、一個の金縁眼鏡の學生體を引連れながら歸つて來た。御神燈を潜つて、三尺の土間を跨いで、長火鉢と食卓と茶簞笥と、いかゞはしい正宗の瓦詰が五六本と、蜜柑を十ばかり盛つた小丼と、新聞附錄の石版摺の額とで六疊の全部を埋められてある張壁の座敷へ上り込んだのであるが、其處には既に古參のお寅が、粉凾から飛出したやうな顔して、臆面もなく戸外のぞめき連を眺めて居る最中なので、お鹽と學生體とは、急ぎ足で其處を通りぬけて、次の三疊の間へ入つた。

絹代は、此の時恰度お寅の背後に控へて、凩みがちに袖の涙を振り絞つて居るのであつたが、今の學生體の顔を見るより早く、悸乎とばかり身體を縮めて、顔を掩つた。

お寅は、何かなしにちゆツと鼠鳴き爲ながら、絹代の袂を強く引いたが、

『ほーら、御覧なさいよ、絹ちやん、主婦さんがちやんと手を廻はして、原口さんを連れてらつしたぢやないの。もう、泣いたつて笑つたつて、駄目よ。』

『お寅さん…………妾、什うしたら好いんで御座いませうね。』

絹代は、聲を出すのさへ、薄氷を踏む心地で言つた。

『什うするつて、極つてますわ。原口さんのやうな方なら、結構ぢやないくて…………?熊さんや八さんの隱と月給を掃つて、女なんかの無暗に逃げ出せないやうな張番が付いてるのよ。』

『まあ、そんな者まで有るんでせうかね。』と、絹代は、泣きながら、身を突附して了つた。

『ちよつと絹ちやん、此處へ來てお前を爲て下さいよ。』

突如として、襖の際から聞えたのは、抱へ主の聲であつた。

『はい、只今…………。』と、絹代は、切迫詰つて、是丈の返事は爲たやうなものゝ、俄かに起つて、男の前へ出やうとする元氣はなかつた。出れば必ず、何時ぞやの綺麗上りの隱い目に遇はせらるゝものと信じて居た。

『絹ちやん、愚圖々々してちや困りますよ。江戸は火事早いんだから。』と、主婦は、再び嘯つた。

『さア、絹ちやん、郷に入つては、郷に從へと云ふ事があるぢやないの。』

お寅も、側から目顔で知らせながら、突つくやうにして、絹代を急き立つたのである。

『はい、只今直ぐに…………。』

絹代は、詮方なしに起つて、襖を五六寸開きかけたのであつたが、もう眼の前の顔も何も見ない前から、もう中途が眞暗に眩んで了つた。

京 呉服 染 京城本町一丁目 たまや出張店 電話二一九六

休戰申込說

獨逸の夢は破られた 某陸軍將校談

歐洲の大戰は已に三年も續いて居るが敵と味方の區別なく交戰國民は何れも最早戰爭には倦み勞れて平和の克復を欲するの情愈々切なるものゝやうである、併し今此の儘で戰爭を止めることになれば聯合國は獨逸に屈服せねばならぬといふ所から是非とも獨逸を破らねばならぬ過去一年間專ら此の

◇準備に努めたが 今や其の準備は全く整つて聯合軍は近く最後の決戰を試む可く全線に亘る頗る大規模の攻勢を開始する運びとなつたと傳へらるゝに拘らず聯合軍は一向に攻勢を開始する模樣が無い一方又機敏な獨逸皇帝は之に對抗す可く早くも奇策をめぐらして好敵御座ンなれと待ち構へて居ると云ふ事であるが英佛軍が準備成りて而も容易に攻勢を開始しないのは露軍の準備が完成するのを待つて居るのだと噂される併し國内の不統一や兵器軍需品の供給不充分な露國が果して此期待に應じ得るや否やは疑問である雖然に最近注意す可きは此の主要戰術を離れた波斯及び亞細亞土耳古の方面で行はれて居る、其處では

◇英露軍に佛軍も 加はつてチグリス、ユウフラテスの古代歴史に有名な兩河の流域なるメソポタミアの平原からアルメニア或はバグダット方面に於ける活躍の狀況は頗る目覺しい此の方面の戰爭は軍事上よりは寧ろ政治上に重大の意義を有する、卽ち之れが爲めに獨逸多年の希望であつた中歐大帝國の建設は根底より破壞さるゝのであるから獨逸に取つては非常な苦痛であるのは言ふまでもない、聯合軍は此の方面に於ける戰勝の效果を收めやうとする戰後經濟戰に對する準備に外ならねけれども露獨方面並に巴爾幹の形勢は今や全然聯合軍に不利に陷したので而して聯合軍は亞細亞方面にかける

◇獨逸の急所を衝 いて遠方から西方戰場に於ける敵軍を牽制するの策に出たものとも考へられる從つて最近獨帝の休戰申込說なるも決して一笑にのみ附す可きものではなく、多少注意の眼を以て見るが至當である(東京)

【南山天滿宮奉納俳句集】

其角堂一雪宗匠選 主催 紫辰會

十 内

梅活し我に詩想は乏しくし 静江
月と風に化て夏の夜更し 蔦月
人何しからず夜ざくら朝櫻 京月
長閑さや此處にも家の梅處 庭水
京の旅奈良の枝りや花衣 水
花守も叱りながらも千両櫛 山
侍り足らぬ雨を濡る蛙哉 月
菅公は梅神公はさくら哉 月
梅の花園大鋼頭の社頭哉 月
薄月夜香り梅の匂ひ哉 月
(人)天地のさゝき如し春の雨 月
(地)晩の浜に見込む雛子の扉 月
(天)永き日より白し梅の花 月

追 加

神詣ゆふ風吹け朝の東風 選者

竹園居一雅宗匠選 主催 紫風會

十 内

鉄狭消し窓に覗くや月の竹 紅
梅咲くや我に詩才はなしと 文
白梅の白きを神の心かな 蕭
書き初めや一字千金二千金 不
史に盡きぬ梅千載の薫哉 浩
菜櫻やお遷の多き世の習ひ 昇
元日や神鏡に映る人心 菊
飛梅や月は都の空つゝき 羅
春風な其猫見せる柳哉 巴
時鳥啼くや百度の踏仕舞 柴
(人)其扉を秘夜まちしが時鳥 不
(地)葉櫻や草に縋るゝ捨蓮 箕
(天)飛梅の香は千載に殘りけり 庭

追 加

梅が香に我も彼岸を仰ぎけり 選者

無二庵帝史宗匠選 主催 蕉風會

十 内

梅柳總は孤ならず隣あり 巴
父訪へは泣て答へず親心 箕
拍手や袴に一と花大る 敢
潮干狩や初桁に開く八文字 駄
時鳥啼くや百度の踏しまい 不
人何じからず夜櫻朝ざくら 駄
白梅や鶯の盃く谷の家 才
春の雨糸の如くに降りたり 不
春既に見れば梅の三輪 庭
稲妻や鶯鳥の遊す竹の踏 一
(人)神ここに在す如し梅薫る 駄
(地)十丈の岩壁を遠ろ清水哉 庭
(天)山路や花の上行き下を行く 庭

追 加

梅にしのぶ千年の昔哉 選者

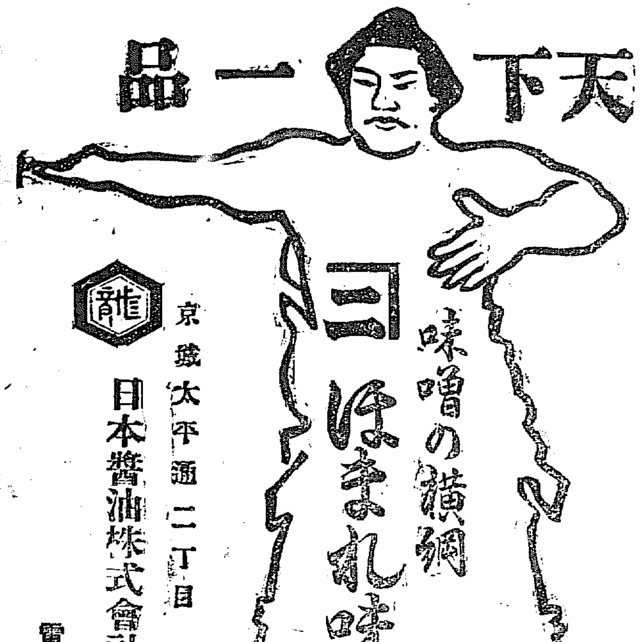
桃園發蕉宗匠選 主催 蕉風會

十 内

嫁人の白衣乾す野や風薫る 箕
吹て飲む白湯の中や今朝の秋 同
涼さや松の根洗ふ月の波 洗
まけて知る手の冷さの雪礫 一
水草も刑はしけなり蜂の峰 箕
不自由も客もしらす術の主 庭
親の云ふ市に嘘なし年の暮 庭
雪解や垣を出ぬけて遊ぶ雛 庭
流れれば水も見るあつき哉 玄
親と子の代ろや雪の渡し守 梅
(人)草まで紙に包む初ほたる 庭
(地)朝顔や隣へ來て小さく咲く 庭
(天)すみわふて暮れ秋の笠水 古

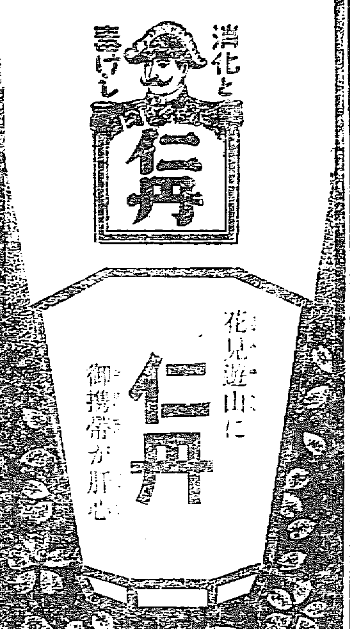
追 加

花の庇溜りて消し山の水 選者



天下一品
味噌の横綱
ほまれ味噌
京城太平通二丁目
日本醤油株式會社京城出張所
電話 二四五番 九八二番

一輪の花にも匂ひあり
されど絶對の芳香は
ツル香水の獨占なり



消化と毒けし
仁丹
花見遊山に
仁丹
御携帶が肝心
金言

府及學校組合法規提要

宇佐美内務部長閣下題字 小原地方局長閣下序文 京城日報社編纂

袖珍

内容

勅令、制令、府令、訓令、通牒等苟も府制、府及學校組合に關係ある法規は細大之を網羅し、て漏さず就中卷末に添附したるものは最近七月に發布せられ組合は固より内地人各學校教員組合會議員其他關係者には座右必備の良參考書たるは言を俟たざる所也

装幀

携帶に便ならしめんため製本を袖珍となし紙數は三百餘頁總洋布天金文字入り頗る美本なる記入に細へ外に改正法規其他必要事項一千五十分便せんし爲め毎頁卷末に上部約一頁の自紙を設くしが更に要に忘欄に十數頁の白紙を設け込みて挿篡上に於ける用意の一端を窺ふに足る

▲定價金壹圓廿錢 送料本社負擔

大賣捌元 京城太平通三ノ一 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

父山田松熊儀病氣の處養生不相叶本日午後六時死去致し候間此段御通知申上候
追而葬儀は途中行列を廢し來る十五日午後五時谷中齋場に於て神葬祭相營み申し候
大正六年三月十三日
東京市本郷區眞砂町三〇番地
嗣子 山田有治
山田彥八
親戚總代 平田直矢
山塚定次郎
岸良參介
久保田勝美
友人總代 三島太郎
木村雄次郎
大田三郎
竹山純平
鹽田廣重

M印 品質本位 ミツワ
大阪唐物町田谷商店

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五三番二三二番
京城府長谷川町營業所 電話長一七〇番
京城南大門通り 松原運送店

○全羅丸 月 三月廿六日 釜山發
○京畿丸 三月三十日
○黄海丸 三月廿一日
○咸鏡丸 門司より釜山各港寄港同船路
○穩城丸 三月廿三日
○昌平丸 三月二十日
○鏡城丸 三月十八日 元山發
○昌平丸 元山より各港經由雄基行 三月十九日 元山發
○會寧丸 甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行 三月十五日 釜山發
○江陵丸 長生浦方魚津寄港 毎 日 釜山發
○襄陽丸 浦項發
○三浦丸 左水浦、蔚水、巨文島、濟州島各寄港 三月十九日 釜山發
○海州丸 各港經由濟州島行 毎日 釜山發
○統營丸 ○巨濟丸 ○慶寶丸
○平壤丸 三月廿三日 元山發
○忠清丸 四月六日
○順天丸 各港經由木浦行 三日目毎 木浦發
○慶興丸 各港經由濟州島行 三月十八日 木浦發
○慶興丸 南多島、群列島行 三月廿四日 木浦發
○公州丸 各港經由濟州島行 三月十六日 木浦發
○江原丸 芝罘、大連、青島行 三月十九日 仁川發
○麗水丸 ○晉州丸 三月廿四日 三月十八日 仁川發
○錦江丸 海州他各港經由鎭南浦行 三月十七日 仁川發
○湖州丸 神戸、大阪行 月 日正午出帆
○全州丸 ○南陽丸 江華島、喬桐島、海州行 毎日午前 仁川發

阿波共同汽船仁川出帆

伏見丸 ○芝罘、大連行 三月十一日午後入港 三月十三日正午出帆
朝鮮鐵道主要驛にて有客連絡運輸取扱仕候 大連にては當社共同辨理所御取扱仕候
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番) 野口商會
仁川代理店 榮町(電話二四七番) 田口回漕部
元山代理店 南大門(電話二六八、二〇一七) 河村運送店
京城取次店

大邱浦項間自動車時間

上り 浦項發 大邱着 ...
下り 大邱發 浦項着 ...

大塚農場自動車所 大邱出張部 電話二一七番

金泉醴泉間自動車發着時間

金泉織居自動車支部 金泉本町 電話八番

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽(天津)行
相模丸 三月二十日正午出帆
花咲丸 三月十一日正午出帆
高砂丸 三月十一日正午出帆
仁川海岸町十一番 電話 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○有吉丸 三月二十日後五時出帆
○秀吉丸 三月十八日後五時出帆
○君か代丸 三月十五日後五時出帆
仁川海岸通三丁目 電話五十九番 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

門司、神戸、大阪行
○和歌浦丸 三月廿四日後五時出帆
○立神丸 四月四日後五時出帆
元山、浦潮行
○和歌浦丸 四月四日後十時出帆
○立神丸 三月廿三日後四時出帆
元山、清津、城津、新浦行
○第三琴平丸 三月 日後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行
○第三琴平丸 三月 日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天眞丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

大阪商船仁川出帆

○外航路所揭航路(沿岸航路を除く)其他連絡切符發賣仕候 船の時は五分前を以て連絡す
○群山、木浦、釜山、關門、神阪行
×濟州丸 三月十八日
×天智丸 三月廿一日後五時出帆
△山陽丸 三月廿四日
○群山、釜山、關門、神戸、大阪行
×汕頭丸 三月十五日後五時出帆
×濟州丸 三月 日
○木浦、釜山、嚴原、郷の浦、長崎行
×安東丸 三月廿七日後二時出帆
×安東丸 四月十三日
○群山、釜山、横濱行
×福州丸 三月廿一日後二時出帆
△湖州丸 三月卅一日
○群山、神戸、大阪行
○天智丸 月 日後五時出帆
○鎭南浦、大連行
×安東丸 三月廿二日後二時出帆
×安東丸 四月八日
○大連直航
×福州丸 三月十六日正午出帆
×湖州丸 三月廿五日
○清津、浦潮行(元山出帆)
△八城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港
△印平丸 三月十五日後十二時出
○安島丸 三月廿一日
○宮島丸 三月廿九日
▲上海、基隆、打狗行(大連出帆)
○湖北丸 四月十五日前六時出帆
○基隆丸 三月廿九日後四時出帆
御注意 ◎朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社線と船車の連絡切符發賣仕候 ◎御乘船客は本船川船の節約一時間前に御送迎可致候 ×印は一等客御斷り △印は船客御斷り
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番二〇番五〇番
內國通運會社京城支店

商況

大阪三品 後場
大阪期米 八月限 一六〇、一〇 一六〇、五〇 止め
仁川期米 一五、五〇 一五、五六

▲依然不勢 ...

▲大に賣る 筋の爲に市勢の人氣は存外動搖々來したりと昔ふべし 今後最高店より...

▲能く買ふ 上りたりとの事 一面二千俵石の賣ありたるも注

▲釜能く買ふ 後場同店より買ひたる玉數九千俵石に...

▲現物界 ...

十四日の五月限 後場 寄 ...